

## EYEPIPE 材工積算

14-01-1-1

作業区分	概要 Outline		Ver.		
CpccmGUI 出力操作			10.00		
1. CpccmGUIは、配管材料集計や工事量積算など、指定した条件に合わせて、Lu Dataに設定または保存されている情報の集計を行い、その結果を、DataBase(RDB)や、CSV形式のText File、およびExcel形式のFileに出力するプログラムです。 その他に、配管材料基準、一般弁使用基準など、別プログラムで出力したText形式Fileを、Excel形式Fileに変換することが可能です。					
※ V10からP&IDに関する全ての機能を新たに提供する統合プログラム eyx へ移行しました。 eyxでは、V9までのP&ID関連リストはeyxでは出力できません。CpccmGUIでは旧Verで作成したデータの読み込みとexcel化ができます。 機能や操作方法についての詳細は、eyxのマニュアルを参照してください。					
2. 出力Modeとしては、「帳票一括出力」および「帳票選択出力」があります。 それぞれの特徴については、下表を参照してください。					
	出力Mode	内容	特徴	出力可能形式	
				CSV/Te	Excel
				RDB	
1)	帳票一括出力	指定した複数の帳票を一括で出力	一度の操作・条件設定で集計を行い、複数種類の帳票が出力可能	○	○
2)	帳票選択出力	特定の帳票を選択して出力	集計結果の絞り込み・並べ替え、出力項目のカスタマイズ、およびブロック別集計が可能	○	×
3. 複数のLu Dataを指定して、まとめて集計することも可能です。 複数Luを指定した場合、メインLu(プラント選択画面でLu#に指定したLu)に、その情報を保存できるため、次回以降も同条件で集計することが容易です。					
4. CpccmGUIで出力可能な帳票については、所有ライセンスにより異なります。 必要ライセンスおよび、出力可能な帳票については14-01-1-2を参照してください。					
5. V6.93互換の帳票(Text形式/Excel形式)も出力することが可能です。					
6. 各帳票の出力項目の詳細な仕様、およびV6.93互換の帳票の様式については、14-01-1-2に参照ページの記載がありますのでそちらを参照してください。					
制限事項					
<ul style="list-style-type: none"> <li>CpccmGUIは、2つ以上、同時に起動することは出来ません。</li> <li>3Dモデル入力起動中のLu Dataを、CpccmGUIでメインLuに指定することは出来ません。</li> <li>Job Folderをサーバなどに設定している場合、いずれかのPCでCpccmGUIを起動し指定しているメインLuは、他のPCにおいてCpccmGUIのメインLuとして設定する事は出来ません。</li> </ul>					
特記事項					
1) 集計集計の絞り込みについて 出力条件設定画面にて、Job区分、流体、クラス、スプール図番、テストループNo.、材集Flagなどにより絞り込み条件の設定が可能です。(14-01-6-1参照) ただし、V6.93迄存在した絞り込み条件の項目のうち、一部の項目については条件設定から除外されています。 除外された項目で、絞り込みを行う場合には、帳票画面の絞り込み機能(帳票画面に集計結果が表示される場合のみ)を使用するか、集計後、ファイル出力して、Excelなどの各アプリケーション側で、絞り込みを行ってください。 以下に除外された絞り込み条件の項目について記載します。					
1)-1 Range2の部品の種類選択について(DOS版cpccmのみ) DOS版のcpccmIにはRange2に各部品の種類(継手類集計でFlangeのみなど)を選択して集計するMenuがありましたが、GUI版では除外されています。					
1)-2 その他 EYEPIPE Range3のSize範囲指定、EYELIST Range4 トレーンNo. グレード区分選択、EYESUPTのサポート配置No.はGUI版で除外されました					
◇) 2) V9の材料集計変更点					
2)-1 ラインマーク V9新機能のパイプ途中で断熱変化設定をした場合、スプール図のラインマークや材料集計時パイプ単位 のラインマークは、クラス記号同様パイプ最長部の断熱記号、厚さを表記します。 最長部が未設定の場合断熱記号、厚さは表記しません。以前のバージョンでは配管始点の断熱記号、厚さを表記していました。 ラインNo.が0のとき従来通り空白4文字に置き換えますが、V8までは「100A-P-A10 1234」のように空白前後の「-」を削除していました。 V9では「100A-P-A10-1234」のように空白4文字はそのまま表記され「-」もそのまま残ります。 SANITARY(IPDJA:5)の呼称が小数点表記(11/2S → 1.5S)と変わりました。 よってラインマークを出力する全ての帳票がこの変更の影響をうけます。					



## EYEPIPE 材工積算

14-01-1-3

作業区分		出力帳票一覧										Ver.					
CpccmGUI 出力操作		List of output lists										10.10					
つづき													(14-01-5-1参照)				
サブシステム	帳票名	帳票名 (略称)	帳票一括出力	帳票選択出力										出力操作・ V693様式 参照Page			
				File出力可能形式					事前出力の要/不要						V693集計設定	複数選択	収載画面照
				CSV	Excel	Block	V693互換		※事前出力が必要な帳票のみ記載								
				Text	Excel	プログラ	File名										
EYELIST-1	ラインインデックス	I_3dll	×	○	○	×	○	○	○	○	mrad	I_3dll*		○	有	21-06-12-x	
	配管工事量集計	I_3dce	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-06-13-x	
	パイプランリスト	I_3dpr	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-06-1-x	
	配管ピース単位工事量	I_3dsppn	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dsppn*		○	○	有	21-06-11-1
	配管部品集計	I_3dft	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-05-11-x	
	一般弁集計	I_3dvl	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-06-3-x	
	配管付属品集計	I_3dpa	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-06-4-x	
	計装品集計	I_3din	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-06-5-x	
	ボルト&ナット集計	I_3dbn	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-06-6-x	
	ガスケット&リング集計	I_3dgr	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-06-7-x	
	パイプ集計	I_3dpp	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-05-8-x	
	パイプカットプラン	I_3dcp	○	○	○	×	○	○	○	○					有	21-05-10-x	
	定尺パイプリスト	I_3dcl	○	○	○	×	○	○	○	○					有	21-05-9-x	
	配管断熱材集計	I_3dis	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-06-10-x	
配管塗装集計	I_3dpt	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-06-14-x		
全配管部品集計	I_3dpmbq	○	○	○	○	○	○	○	○				○	有	21-05-1-x		
トレーサ配管材料集計	I_3dtr	○	○	○	×	○	○	○	○				○	有	21-05-12-x		
EYELIST-2	配管溶接点情報 標準タイプ	I_3dwi	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dwi*		○	○	有	21-07-2-x
	配管溶接点情報 タイプ2	I_3dwit2	×	○	○	○	○	○	○	○	mdispis	I_3dwit2*		○	○	有	21-07-5-x
	配管溶接点両側材料仕様付	I_3dwibm	×	○	○	○	○	○	○	○	mdispis	I_3dwibm*		○	○	有	21-07-6-x
	スプール図単位集計 標準	I_3dspt2	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dspt2*		○	○	有	21-08-2-x
EYENGK2	スプール図単位集計 断熱付	I_3dsp.txt	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dsp.txt		○	○	有	21-08-5-x
EYETKD2	スプール図単位集計 タイプ4	I_3dspt4	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dspt4*		○	○	有	21-08-4-x
EYEDHF3	配管パイプ曲げ集計	I_3dbd	×	○	○	×	○	○	○	○	mdispis	I_3dbd*		○	○	有	
EYESUPT	配管サポート	ASUP.csv	×	○	○	×	○	○	○	○	msupt_ba	ASUP.csv		○	有	22-18-1-x	
	配管サポート部品	I_3dsm	○	○	○	×	○	○	○				○	有	22-17-2-2		
	配管サポートファスナ	I_3dsf *○	○	○	○	○	○	○	○					有	22-17-2-3		
	配管サポート固定部品	I_3dsb *○	○	○	○	○	○	○	○					有	22-17-2-4		
	配管サポート部材	I_3dss *○	○	○	○	○	○	○	○					有	22-17-2-5		
	配管サポートプレート	I_3dsl *○	○	○	○	○	○	○	○					有	22-17-2-6		
*○: EYELIST-1のライセンスがあるとbreakモードの出力が可能																	

作業区分

操作の流れと主要画面の関係  
Work flow and the main dialog

Ver.

CppcmGUI  
出力操作

10.10

1. 起動方法

本プログラムは、ランチャの「材工積算 (CppcmGui)」または、EYECAD TOPの「材工集計」ボタンから起動します。



図1 ランチャ画面

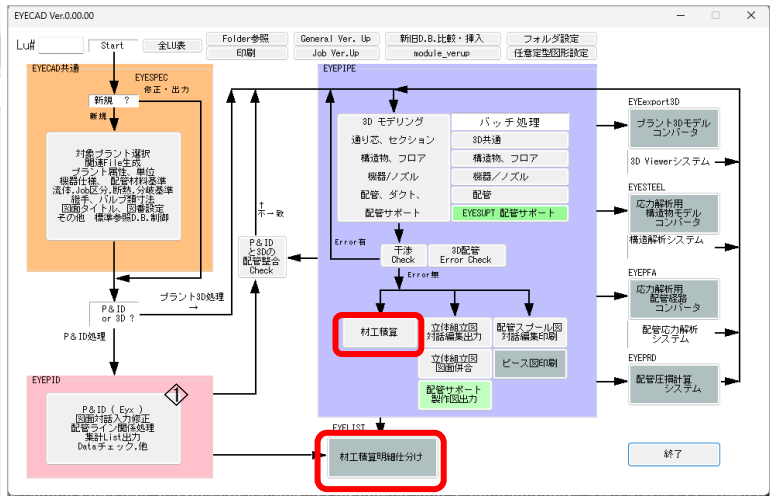
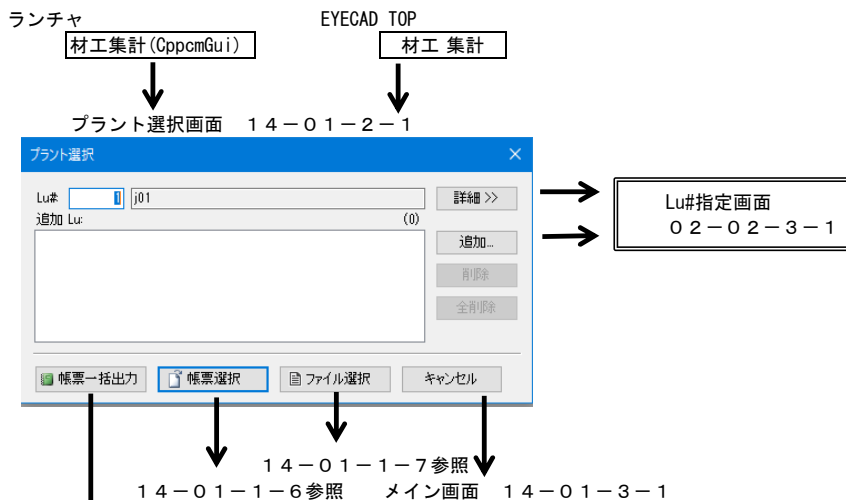


図2 EYECAD TOP画面

2. 操作の流れと各種画面

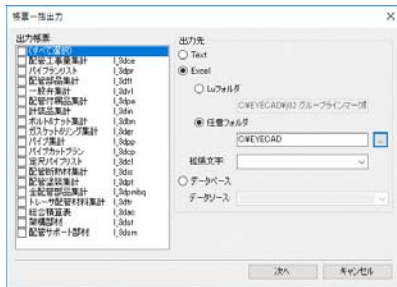
以下は、CppcmGuiの全体の流れと、表示される主な画面との関連を表しています。各画面の詳細な説明については、記載のマニュアルページを参照してください。

2-1) 起動後の流れ



2-2) 帳票一括出力の流れと各種画面の関連

◇ 帳票一括出力画面 14-01-4-1



キャンセル → メイン画面

※出力帳票に「配管サポート部材 (I\_3dsm)」「架構部材 (I\_3dst)」が含まれる場合は、それぞれ専用の出力条件設定画面 (※1参照) も表示されます。

次

出力条件設定画面 14-01-6-1



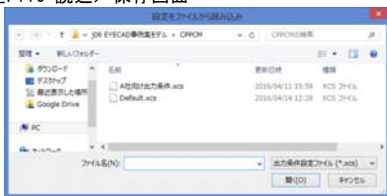
キャンセル → メイン画面

次 → 出力 (CSV形式 File, Excel形式 File, データベース (RDB))

※帳票出力後  
メイン画面へ

設定読み 設定保存

設定File 読み/保存画面



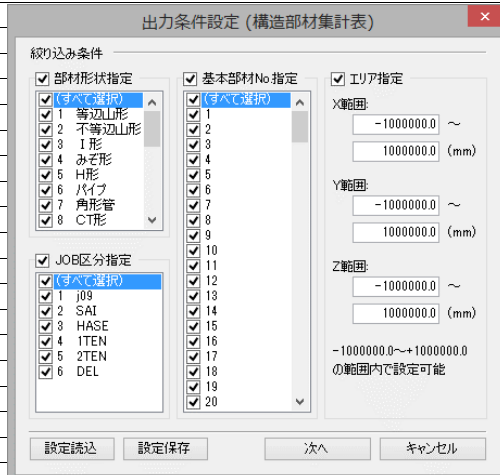
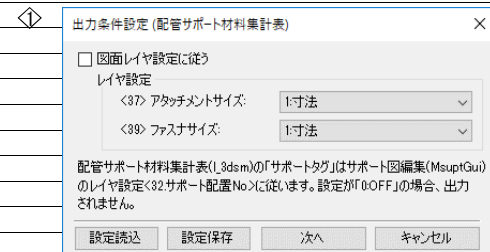
※1 出力帳票に「配管サポート部材 (I\_3dsm)」「架構部材 (I\_3dst)」を選択した場合の出力条件設定ダイアログについて  
設定内容や操作については、それぞれのページを参照してください。

1) 配管サポート部材 (I\_3dsm)の出力条件設定画面

14-01-6-4

2) 架構部材 (I\_3dst)の出力条件設定画面

14-01-6-3



# EYEPIPE 材工積算

14-01-1-6

作業区分

CppcmGUI  
出力操作

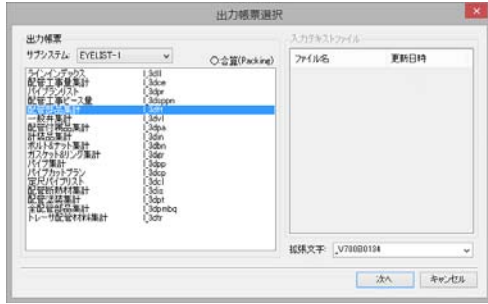
操作の流れと主要画面の関係  
Work flow and the main dialog

Ver.

8.10

## 2-3) 帳票選択出力の流れと各種画面の関連

出力帳票選択画面 14-01-5-1



出力条件設定画面 14-01-6-1



次へ  
※Lu Data直接参照  
(事前出力不要)の  
帳票の場合  
注1

キャンセル  
次へ  
※Fileの事前出力が必要な帳票の場合

メイン画面

集計実行

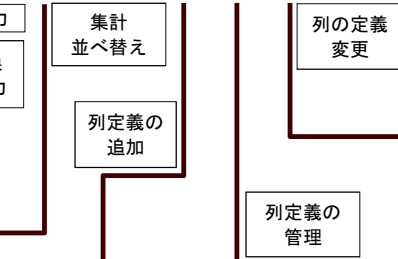
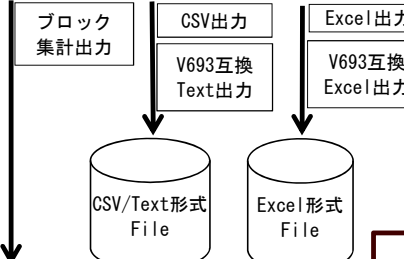
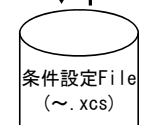
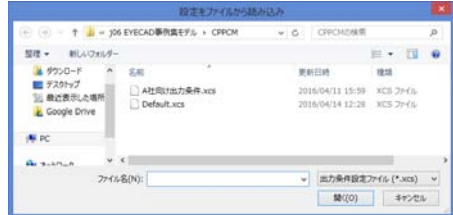
集計実行 次へ

帳票画面 (メイン画面) 14-01-3-1

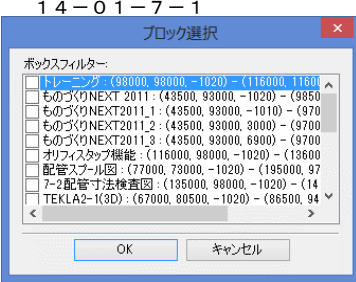
Lu#	PID	Spool No.	JL0H	JSM# JDJLN	Piece No.	SpM# No.	Job#	Job Symbol	DWG No.	Fluid	Line No.	Inst.
1	6	1	1	1	1	1	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
2	6	1	1	2	1	44	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
3	6	1	1	2	1	2	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
4	6	1	1	3	1	36	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
5	6	1	1	3	1	3	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
6	6	1	1	4	1	33	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
7	6	1	1	5	1	33	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
8	6	1	1	6	1	36	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
9	6	1	1	7	1	39	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
10	6	1	1	4	1	4	9	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	
11	6	1	1	0	1	0	0	Ver:882	EYESUPT - 001	P	0000	

設定読み込み 設定保存

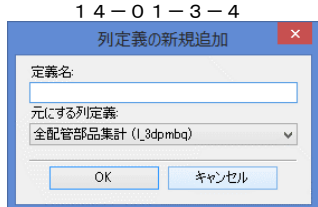
設定File 読み込み/保存画面



ブロック選択画面 14-01-7-1



列定義の新規追加画面 14-01-3-4



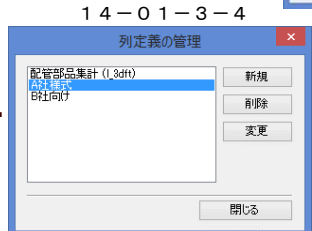
列定義変更画面 14-01-3-4



集計・並べ替え設定画面 14-01-3-3



列定義の管理画面 14-01-3-4



注1 「配管サポート材 (I\_3dsm)」 「架構部材 (I\_3dst)」 を選択した場合は、それぞれの出力条件設定ダイアログが表示されます。設定内容や操作については、14-01-6-4または、14-01-6-5を参照してください。

## EYEPIPE 材工積算

14-01-1-7

作業区分	操作の流れと主要画面の関係 Work flow and the main dialog	Ver.
CppcmGUI 出力操作		9.30

## 2-4) ファイル選択画面

帳票出力は出力条件設定画面(14-1-6-1)で設定した条件で中間ファイル(RDBファイル)を作成し、中間ファイルを読み込みメイン画面に帳票画面を表示します。ファイル選択画面で一度作成した中間ファイル(RDBファイル)やテキストを読み込むことができます。

注意) 最初にこの機能を選択すると以下のメッセージが表示されます

本機能はモデル変更がない場合に材料集計をせずLu内の中間ファイル(\*.RDB)を読み込み表示する機能です。

中間ファイル(\*.RDB)は「帳票選択」で材料集計を行ったときに作成されます。なお古いVer.で作成された中間ファイルは選択できません。中間ファイル作成後モデル変更を行った場合は必ず「帳票」で材料集計を行ってください。

このメッセージを表示しないにチェックを入れるとこのメッセージは以後現れません。

## 1) ファイル選択読み込み画面

「プラント選択」画面で「ファイル選択」ボタンを押すと次の「ファイル選択読み込み画面」が現れます。

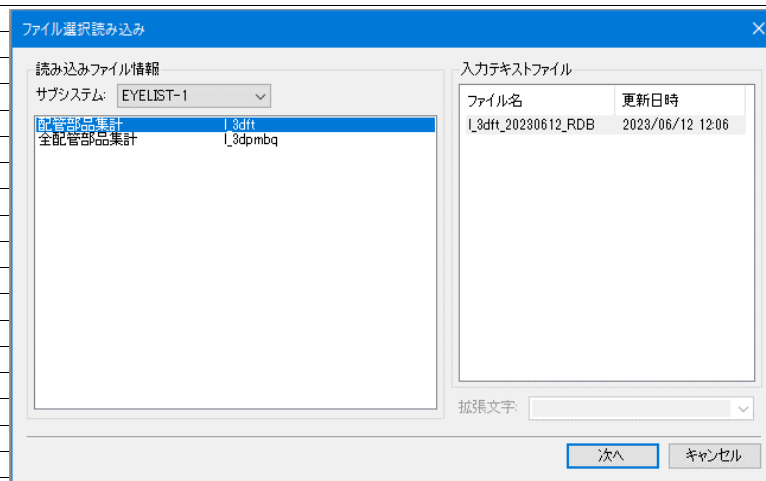
出力帳票画面14-01-1-6と同様の画面ですが、選択できるファイルが各サブシステムに対する中間ファイルとなります。

中間ファイルは例えば配管部品集計なら“l\_3dft”で始まり“\_RDB”で終わるファイルです。例) l\_3dft\_RDB、 l\_3dft\_20230807\_RDBなど  
l\_3dft\_20230807\_RDBはl\_3dft\_RDBの名前を変更したもの

入力テキストファイルを選択して「次へ」で帳票画面が現れます。以降は14-01-1-6と同様です。

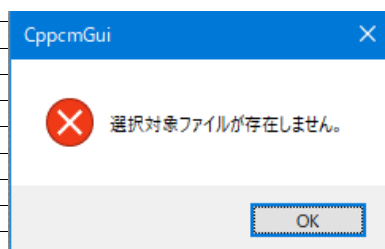
対象の帳票は以下の通りです

出力区分(帳票名)	ファイル名
ボルト&ナット集計	l_3dbn
定尺パイプリスト	l_3dcl
パイプカットプラン	l_3dcp
配管部品集計	l_3dft
ガスケット&リング集計	l_3dgr
計装品集計	l_3din
配管断熱材集計	l_3dis
配管付属品集計	l_3dpa
全配管部品集計	l_3dpmbq
パイプ集計	l_3dpp
パイプランリスト	l_3dpr
配管塗装集計	l_3dpt
トレーサ配管材料集計	l_3dtr
一般弁集計	l_3dvl
配管工事量集計	l_3dce



2) Luフォルダに中間ファイル(RDBファイル)がない場合は以下の「選択対象ファイルが存在しません」というメッセージを表示します。

V9.30以前の中間ファイルは読むことができないため選択対象になりません。



3) V9.20まではl\_3dce\_RDB、 l\_3dcp\_RDB、 l\_3dpr\_RDBには実外径は出力されず帳票画面を表示するときに実外径を表示していました。

V9.30から実外径をこれら\_RDBファイルに出力するようになりました。

<prog\_settings><cppcm><ActualOutDiaOutput>を0にすれば従来通り実外径を出力しないようになります。

EYE PIPE 材工積算

14-01-2-1

作業区分	プラント選択画面 Plant selection dialog	Ver.
CppcmGUI 出力操作		7.00

1. 概要

プラント選択画面は、帳票出力するメインLu、および同時に処理を行う追加Luを指定するための画面です。

CppcmGUIを起動した直後に、帳票画面（メイン画面）と共に表示されます。  
帳票画面（メイン画面）については、14-01-3-1を参照してください。

2. 画面構成

画面イメージ	ラベル	内容/機能
	Lu#	指定したメインのLuの情報（Lu#とそのFolder名）が表示される。キー入力によるLuの指定も可能
	追加Lu	追加ボタンで指定したLu#とそのFolder名が表示される一覧の右上に追加Luの総数が表示される
	詳細 >>	表示されるLu#指定ダイアログで、メインLuを指定する指定したLuとそのFolder名がLu#の行に表示される
	追加	表示されるLu#指定ダイアログで、追加Luを指定する指定したLuは、追加Luの一覧に追加表示される
	削除	追加Lu一覧で選択しているLuを一覧から削除する
	全削除	追加Lu一覧に表示されているすべてのLuを一覧から削除する
	帳票一括出力	複数の帳票を一括で出力する
	帳票選択出力	出力する帳票を指定して出力する
	キャンセル	プログラムを終了する

【補足事項】

- ・ 「削除」「全削除」を行っても実際のLu Dataは削除されません。
- ・ 追加で指定したLuは、メインLuの情報として自動的に保存されます。次回以降、メインLu内にその情報が存在する場合には、自動的に追加Luが一覧に表示されます。
- ・ 「帳票一括出力」「帳票選択出力」ボタンを押した時、指定されている追加Luが実際に存在するかを確認し、存在しない場合には、追加Luの候補から削除するか否かを確認するメッセージが表示されます。

3. 操作手順

1) 帳票出力処理を行うメインLuを「詳細 >>」ボタンで表示されるLu#選択ダイアログで指定するか、Lu#を直接キー入力します。

2) 複数のLuをまとめて処理したい場合には、「追加...」ボタンを押下し、対象となるLuを選択します。追加Luで指定されたLu情報は、追加Luの一覧に表示されます。

不要なLuがある場合には、「削除」または「全削除」ボタンを押下することで、選択解除が可能です。

3) 対象Luの選択が完了した後、「帳票一括出力」または「帳票選択出力」ボタンを押下することで、次の操作に進みます。

- 帳票一括出力 → 14-01-4-1
- 帳票選択出力 → 14-01-5-1

4) 帳票出力処理実行時に、追加Luの重複・存在確認を行います。

図1 重複Luのエラーメッセージ

4-1) Luが重複して指定されている場合は、エラーメッセージ（図1）が表示されます。重複しているLuを追加Lu一覧から削除してください。

4-2) 追加Luに登録されているLuが存在しない場合には、削除確認のメッセージ（図2）が表示されますので、処理の選択をしてください。

- 「はい」 → 存在しない追加Luを削除して、帳票出力処理を続行します。
- 「いいえ」 → 帳票出力処理を中断して、プラント選択画面に戻ります。

図2 Luが存在しない場合の確認メッセージ

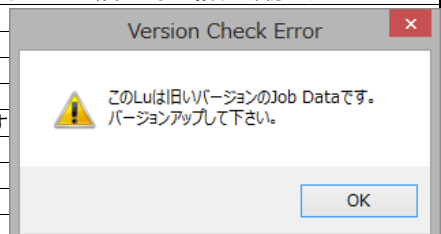
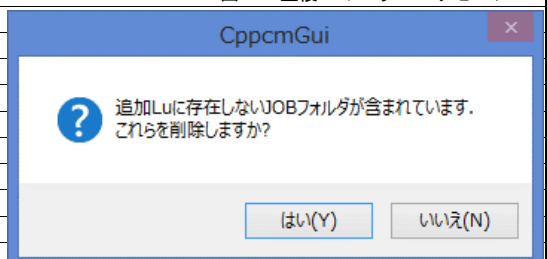
4. メインのLuと追加Luの関係

1) 追加Luとして指定したLu#は、メインLuの情報として保存されます。次回以降、メインLuに追加Luの設定が存在する場合には、自動的に追加Lu一覧に表示されます

5. 注意事項

1) 使用するLu（メインLu、追加Luとも）は必ずJobVerupを実施したLu#を選択してください。JobVerupを実施していないLu#を選択した場合は、エラーメッセージが表示されます（図3）

図3 Lu#選択時のエラーメッセージ



## EYEPIPE 材工積算

14-01-3-1

作業区分	帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)	Ver.
CpccmGUI 出力操作		9.10


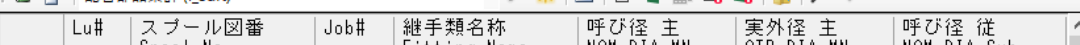
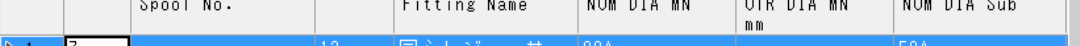
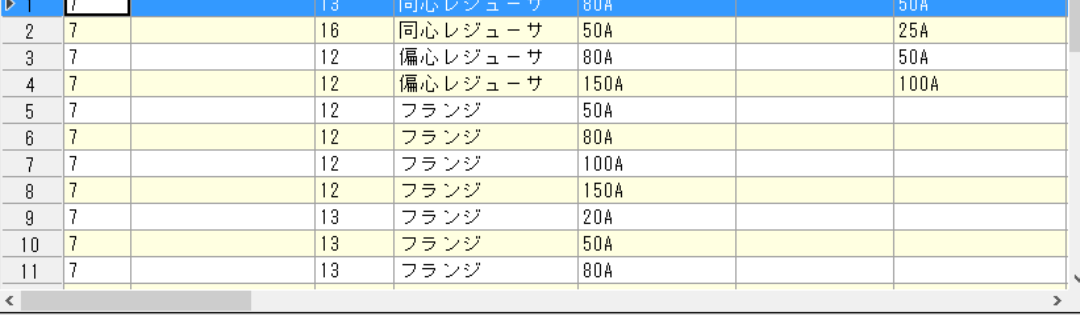
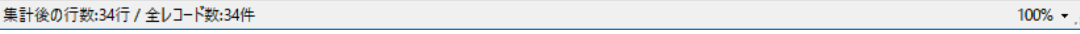

## 1. 概要

帳票画面は、帳票選択出力の出力結果を表示、調整する画面です。  
また、CpccmGUIの各種設定、操作を行うためのメイン画面としての役割も担っています。  
帳票結果表示エリアに結果が表示されている場合に、帳票画面 (メイン画面) とし、そうでない場合はメイン画面と表記しています。

CpccmGUI起動直後に、プラント選択画面と共に本画面も表示されますが、起動直後は操作できません。  
各種出力処理実行後、またはプラント選択画面でキャンセルした時点で、操作が可能になります。

## 2. 画面構成

## 画面イメージ

画面イメージ	内容	参照項
	ウィンドウ タイトル	2-1)
	メニューバー	2-2)
	ツールバー	2-3)
	集計情報 見出し	2-4)
	集計結果表示 エリア	2-5)
	ステータス バー	2-6)

## 2-1) ウィンドウタイトル

ウィンドウのタイトルとして、メインLuの情報 (Folder名) と、プログラム名 (CpccmGUI) を表示します。  
メインLuが選択されていない場合は、プログラム名のみが表示となります。

## 2-2) メニューバー

メニューバーの各項目から呼び出される機能との関連は下表の通りです。  
機能の詳細については、各機能の内容を確認してください。

Menu	Menu (2階層)	Menu (3階層)	参照Page	参照項	機能	
File (F)	プラント開く (O)...		14-01-2-1		プラント選択	
	帳票一括出力 (B)...		14-01-4-1		帳票一括出力	
	帳票選択 (L)...		14-01-5-1		帳票選択出力	
	File出力 (F) ※1	CSV (C)...		14-01-3-3	3-1)	表示中の帳票内容をCSV Fileに出力
		Excel (E)...		14-01-3-3	3-2)	表示中の帳票内容をExcel Fileに出力
		ブロック集計 (B)...		14-01-7-1		ブロック集計を実行
		V693互換Text (T)...		14-01-3-3	3-3)	表示中の帳票内容をV6.93互換の様式でText Fileに出力
		V693互換Excel (O)...		14-01-3-3	3-4)	表示中の帳票内容をV6.93互換の様式でExcel Fileに出力 ※2
	オプション (O)...				オプションダイアログ表示 ※6	
	終了 (X)				プログラムを終了	
表示 (V)	集計・並べ替え (A)...		14-01-3-3	3-5)	出力項目の集計、並べ替え条件の設定および実行	
	列の固定 (C)				現在カーソルのあるセルから左の列を固定	
	列の固定解除 (U)				列の固定解除	
	列の設定変更 (O)...		14-01-3-4	3-6)	出力項目の列の表示設定、表示順の変更 ※3 ※5	
	列定義の追加 (N)...		14-01-3-4	3-7)	出力項目の列定義の追加 ※5	
	列定義の管理 (M)...		14-01-3-4	3-8)	出力項目の列定義の管理 ※5	
	フォルダ参照 (R)		14-01-3-4		メインLuのFolderをExploreで開く ※4 ※5	
	検索 (F)...		14-01-3-2		帳票内の文字列を検索	
	次を検索 (G)...		14-01-3-2		最後に検索した文字列の検索	
	拡大・縮小		-		画面表示を50, 75, 100, 125, 150, 200, 300%から選択可	
◇ 大きいアイコン		-		ツールバーアイコンを大きいアイコンに切り替えます		
ヘルプ (H)	バージョン情報 (V)				CpccmGuiのバージョン情報を表示	

※1 File出力メニュー以下の各メニューの選択可・不可については、14-01-1-2の表の「帳票選択出力」列を参照してください。

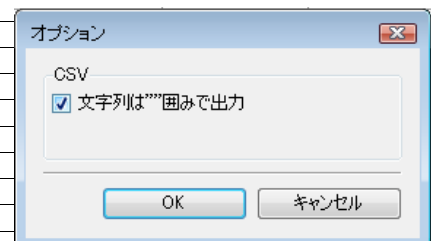
※2 次の帳票では使用不可のため選択出来ません。  
EYESPEC関連、EYEPID関連、ラインリスト (A3DL)、

※3 標準の列定義で表示を行っている場合は選択出来ません。

※4 プラントを開いていない場合は選択出来ません。

※5 帳票画面に集計結果が表示されていない場合は選択出来ません。

※6 以下のオプションダイアログを表示、CSV出力する文字列を""囲みする/しないの  
選択ができます。



## EYEPIPE 材工積算

14-01-3-2

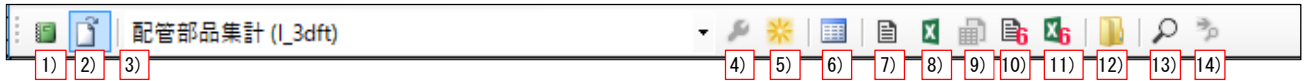
作業区分	帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)	Ver.
CppcmGUI 出力操作		8.00

## 2-3) ツールバー

ツールバーは、メニューバーにある各メニューに対応したアイコンが設置されています。  
各アイコンをクリックすることで、該当する機能を実行することが可能です。

また、Comboには登録済みの列定義のリストが表示されていますので、目的の列定義を選択することで、  
帳票画面の表示様式を切り替えることが可能です。

## ツールバーイメージ

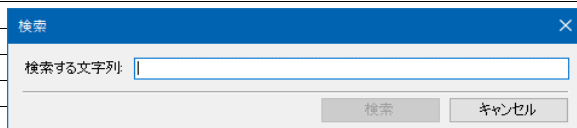


ツールバーの各アイコンから呼び出される機能との関連は下表の通りです。  
機能の詳細については、各機能の内容を確認してください。

No.	アイコン/Label	Style	対応するメニューバー/Menu	参照Page	参照項	機能
1)	帳票一括出力	ボタン	帳票一括出力 (B)...	14-01-5-1		帳票選択出力
2)	帳票選択	ボタン	帳票選択 (L)...			帳票選択出力
3)	列定義選択	ComboBox			2-4)	列定義選択
4)	列の設定変更	ボタン	列の設定変更 (O)...	14-01-3-4	3-6)	出力項目の列の表示設定、表示順の変更
5)	列定義の追加	ボタン	列定義の追加 (N)...		3-7)	出力項目の列定義の追加
6)	集計・並べ替え	ボタン	集計・並べ替え (A)...	14-01-3-3	3-5)	出力項目の集計、並べ替え条件の設定および実行
7)	CSV出力	ボタン	CSV (C)...	14-01-3-4	3-1)	表示中の帳票内容をCSV Fileに出力
8)	Excel出力	ボタン	Excel (E)...		3-2)	表示中の帳票内容をExcel Fileに出力
9)	ブロック集計出力	ボタン	ブロック集計 (B)...	14-01-7-1		ブロック集計を実行
10)	V693互換Text出力	ボタン	V693互換Text (T)...	14-01-3-4	3-3)	表示中の帳票内容をV6.93互換の様式でText Fileに出力
11)	V693互換Excel出力	ボタン	V693互換Excel (O)...		3-4)	表示中の帳票内容をV6.93互換の様式でExcel Fileに出力
12)	フォルダ参照	ボタン	フォルダ参照 (R)			メインLuのFolderをExploreで開く
13)	検索	ボタン	検索 (F)...			帳票内の文字列を検索
14)	次を検索	ボタン	次を検索 (G)...			最後に検索した文字列の検索

## 検索について

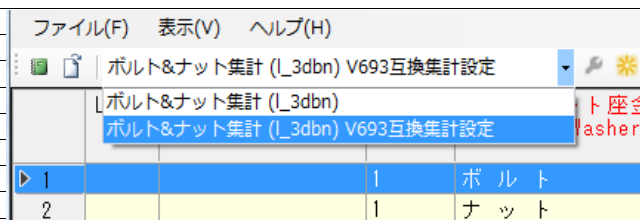
検索ボタンを押すと以下の検索ダイアログが現れます。検索文字列を入力し「検索」で帳票内に文字列が見つければその行までスクロールし、  
ダイアログを閉じます。「次を検索」もしくはF3キーで続けて同じ文字列を検索します。最後まで検索すると再度先頭行から検索を繰り返します。



## 2-4) 列定義選択

クリックすると登録されている列定義の一覧が表示されます。選択で列定義の設定内容に合わせて帳票結果表示エリアに表示する内容を  
更新します。

標準でV693互換集計設定の列定義が用意されています。この列定義を選ぶことでV693のExcel集計と同じ集計が可能です



EYEPIPE 材工積算

14-01-3-3

作業区分 CpccmGUI 出力操作	帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)	Ver. 8.00
--------------------------	---	--------------

2-4) 集計情報ヘッダ

列情報として設定されている各列の列名が表示されます。  
各列のヘッダをクリックすることで絞り込みや並べ替えなど行う「絞り込み・並べ替えメニュー画面」が表示されます。

2-3-1) 絞り込み・並べ替えメニュー画面

クリックした列をキーにしての並べ替え、集計条件対象のON/OFFの切替、フィルタの設定、絞り込み文字列の設定などを行うメニューです。  
以下説明は全て、クリックした列に対する動作について説明しています。

メニュー画面	メニュー/エリア	機能/内容																																								
昇順で並べ替え 降順で並べ替え 集計(同一判定)対象 集計(積算)対象 フィルターリセット <input checked="" type="checkbox"/> (すべて選択) <input checked="" type="checkbox"/> 45°Sエルボ <input checked="" type="checkbox"/> 45°エルボ <input checked="" type="checkbox"/> 45°分岐ボス <input checked="" type="checkbox"/> 90°Sエルボ <input checked="" type="checkbox"/> 90°エルボ <input checked="" type="checkbox"/> アウトレット <input checked="" type="checkbox"/> インクリーザ <input checked="" type="checkbox"/> ウェハ部品外周SW分 <input checked="" type="checkbox"/> キャップ <input checked="" type="checkbox"/> クランプ <input checked="" type="checkbox"/> スタブエンド <input checked="" type="checkbox"/> ティー AND OR <input type="text"/> <input type="text"/> AND OR <input type="text"/> <input type="text"/> OK キャンセル	昇順で並べ替え	列をキーとして、昇順で並べ替えを行う																																								
	降順で並べ替え	列をキーとして、降順で並べ替えを行う																																								
	集計(同一判定)対象	集計(同一判定)対象	同一値である場合に行のPackingを行うか否かを設定する この設定は、「集計・並べ替え」機能(14-01-3-4の3-6参照)の設定に同期する																																							
	集計(積算)対象	集計(積算)対象	部品の材料が同一である場合にぎょうのPackingを行うか否かを設定する この設定は、「集計・並べ替え」機能(14-01-3-4の3-6参照)の設定に同期する																																							
	フィルターリセット	フィルターリセット	列をキーとして、行のフィルタリングの設定を行う フィルタ設定した列の文字は <b>太字</b> で表示されます 列に設定しているフィルタを全てクリアする																																							
	候補リスト	候補リスト	フィルタの対象となる候補の一覧が表示される チェックOFFにすると、列にその値が設定されている行が非表示となる 一覧には、列に存在する全ての値が表示される(ただし非表示の値は表示されない) 1行目にある「全て選択」をクリックすると、候補の全てに対してチェックON、またはOFFを設定する																																							
	AND/OR	AND/OR	直下に設定されている文字列で絞り込みを行う際の論理条件を選択する																																							
	Textエリア	Textエリア	絞り込みの条件となる値を入力する Comboからも選択出来る。Comboには列に登録されている値が表示される																																							
	ComboBox	ComboBox	Textエリアに入力した値を条件としてどのように扱うかを選択する 候補としては以下のものが表示される																																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>合致条件</th> <th>内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>と等しい</td> <td>同じ値が存在する行を表示</td> <td>=</td> </tr> <tr> <td>と等しくない</td> <td>同じ値が存在しない行を表示</td> <td>≠</td> </tr> <tr> <td>より大きい</td> <td>超える値の行を表示</td> <td>&gt;</td> </tr> <tr> <td>以上</td> <td>値が大きい行を表示</td> <td>≥</td> </tr> <tr> <td>より小さい</td> <td>値に未満の行を表示</td> <td>&lt;</td> </tr> <tr> <td>以下</td> <td>値が小さい行を表示</td> <td>≤</td> </tr> <tr> <td>で始まる</td> <td>文字列が値で始まる行を表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>で始まらない</td> <td>文字列が値で始まらない行を表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>で終わる</td> <td>文字列が値で終わる行を表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>で終わらない</td> <td>文字列が値で終わらない行を表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>を含む</td> <td>文字列に値を含む行を表示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>を含まない</td> <td>文字列に値が含まれない行を表示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合致条件	内容		と等しい	同じ値が存在する行を表示	=	と等しくない	同じ値が存在しない行を表示	≠	より大きい	超える値の行を表示	>	以上	値が大きい行を表示	≥	より小さい	値に未満の行を表示	<	以下	値が小さい行を表示	≤	で始まる	文字列が値で始まる行を表示		で始まらない	文字列が値で始まらない行を表示		で終わる	文字列が値で終わる行を表示		で終わらない	文字列が値で終わらない行を表示		を含む	文字列に値を含む行を表示		を含まない	文字列に値が含まれない行を表示	
	合致条件	内容																																								
	と等しい	同じ値が存在する行を表示	=																																							
と等しくない	同じ値が存在しない行を表示	≠																																								
より大きい	超える値の行を表示	>																																								
以上	値が大きい行を表示	≥																																								
より小さい	値に未満の行を表示	<																																								
以下	値が小さい行を表示	≤																																								
で始まる	文字列が値で始まる行を表示																																									
で始まらない	文字列が値で始まらない行を表示																																									
で終わる	文字列が値で終わる行を表示																																									
で終わらない	文字列が値で終わらない行を表示																																									
を含む	文字列に値を含む行を表示																																									
を含まない	文字列に値が含まれない行を表示																																									

2-5) 集計情報表示エリア

帳票選出力で集計した集計結果が表示されます。  
表示する列やその順番は、列定義により変更可能です。  
表示する行や表示順は、集計・並べ替えにより変更可能です。

2-6) ステータスバー

表示エリアに表示されている情報数と非表示も含めた全ての情報数を表示します。

EYEPIPE 材工積算

14-01-3-4

作業区分	帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)	Ver.
CppcmGUI 出力操作		8.00

3. 機能詳細

3-1) CSV出力

帳票結果出力エリアに表示されている内容を、CSV形式Fileで出力します。

テキストFile出力画面 (図3-1) が表示されますので、  
任意のFolder、File名を指定し、「保存(S)」を押下して出力します。

File名には、帳票の種類によりデフォルトのFile名が  
あらかじめ表示されます。  
デフォルトのFile名は、列の設定変更で変更が可能です。

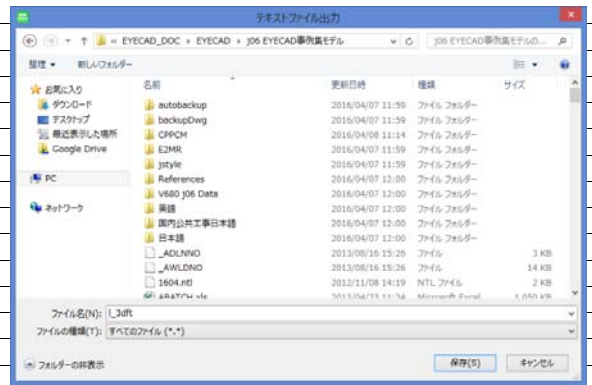


図3-1 テキストFile出力画面

3-2) Excel出力

帳票結果出力エリアに表示されている内容を、Excel形式Fileで出力します。

エクセルFile出力画面 (図3-2) が表示されますので、  
任意のFolder、File名を指定し、「保存(S)」を押下して出力します。

File名には、帳票の種類によりデフォルトのFile名が  
あらかじめ表示されます。  
デフォルトのFile名は、列の設定変更で変更が可能です。

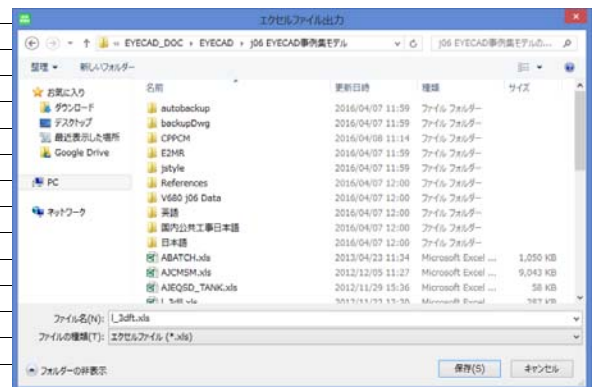


図3-2 エクセルFile出力画面

3-3) V693互換 Text出力

集計結果出力エリアに表示されている内容を、  
V6.93の様式でText形式Fileに出力します。  
操作方法は、3-1) CSV出力 と同様です

3-4) V693互換 Excel出力

集計結果出力エリアに表示されている内容を、V6.93の様式でExcel形式Fileに出力します。  
操作方法は、3-2) Excel出力 を参照してください。

3-5) 集計・並べ替え

集計結果表示エリアに表示されている内容に対して、Packingや集計、項目指定による並べ替え (ソート) を行います。  
メニューを選択すると、集計・並べ替え画面 (下図) が表示されます。  
同一判定項目、集計項目、ソート項目の条件を設定することで条件に合わせた再集計結果が、集計結果表示エリアに表示されます。  
◇ 「同一判定」に設定した列の文字は「赤」、「集計」に設定した列の文字は「青」となります。  
「同一判定」と「集計」はどちらか一方しか選択できません。

画面イメージ	内容	機能・設定方法
	同一判定項目 (Same)	チェックを入れた項目列の各値が同一の場合にそれらを一行にPackingします。 一覧には、列定義で設定されている項目が表示されます。
	集計項目 (+)	一行にPackingする際に、チェックを入れた項目列の各値を合算します。 一覧には、集計可能な項目のみが表示されます。
	ソート	ソート (並べ替え) を行う項目とその優先順位を設定します。 各Comboには、列定義で設定されている項目が表示されます。 8番目の優先順位まで設定可能です。
	OK	設定された条件で処理を実行します。
	キャンセル	処理を行わず画面を閉じます。

## EYEPiPE 材工積算

14-01-3-5

作業区分		帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)		Ver.
CppcmGUI 出力操作				8.00
3-6) 列の設定変更				
列定義の定義名、および設定を変更します。				
システム標準の列定義を使用している場合には、このメニューは選択できません。				
設定を変更する場合は、必ず「列定義の追加」で定義を追加してください。				
メニューを選択すると、列の設定変更画面 (下図) が表示されます。				
現在選択されている列定義の内容が表示されますので、設定の変更を行ってください。				
設定が終了し「OK」を押下することで、設定が保存され、集計結果表示エリアが設定内容に合わせて更新されます。				
内容	機能・設定方法	画面イメージ		
定義名(File名)	列定義の名称です。この名前前で設定Fileが保存されます。 設定Fileは、メインLuのCPPCMというFolder内に XML形式Fileで保存されます。			
列の設定				
表示可能な列	表示対象ではない列の一覧です。「表示する列と順序」に 設定されている列名は表示されません。 複数の列名を選択することが可能です。			
表示する列と 順序	表示対象となっている列の一覧です。ここで設定した列が 集計結果表示エリアに、左から順番に表示されます。			
追加 >>	表示可能な列で選択されている項目を、 表示する列と順序に追加します。 表示する列と順序で項目が選択されている場合は、 最上段の項目の前に追加されます。 (複数選択されている場合も同様です)			
<< 削除	表示する列と順序で選択されている項目を表示対象から 削除します。削除した項目は、表示可能な列に表示されます。			
上へ / 下へ	表示する列と順序で選択されている項目の表示順を 一つ上げ(下げ)ます。複数選択されている場合でも、 それぞれ一つずつ上がり(下がり)ます。			
列名の変更	選択されている列名の変更が可能です。 左側が「表示可能な列」、右側が「表示する列と順序」の 列名に対応しています。いずれも操作方法は同じです。			
TextBox	選択されている列名がTextBoxに表示されます。			
変更	TextBoxに入力されている名称で選択中の列名を変更します。 ※列名が選択されていない場合は、変更出来ません。			
File出力の設定				
テンプレートFile	Excel出力の際のテンプレートFileを選択します。			
File	Comboには、bgのCPPCM Folderに存在するテンプレートFileが候補として表示されます。			
デフォルトFile	CSV出力、Excel出力の際のデフォルトFile名を設定します。			
開始セル	Excel出力の際に、帳票を出力するセルの開始位置を指定することが可能です。			
行 / 列	開始位置を指定することで、あらかじめ余白の行(列)を作って、帳票を出力することが可能です。 数値を直接入力するか、右側の▲(+1)、▼(-1)で設定します。マイナスの値は設定できません。			
OK	設定された内容を設定Fileに保存して画面を閉じ、設定に合わせて帳票画面を更新します。			
キャンセル	設定された内容を全て取り消し、帳票画面に戻ります。帳票画面は更新されません。			
3-7) 列定義の追加				
列定義を新規に作成します。				
メニューを選択すると、列定義の新規追加画面 (図3-8) が表示されます。				
元にする列定義のComboには、メインLuのCPPCM Folder内に存在する列定義Fileが表示されます。				
定義名を入力し、元にする列定義を選択して、OKを押下すると、メインLuのCPPCM Folder内に 元にする定義名選択した列定義と同じ内容で、定義Fileが保存されます。				
既に同名の定義File名が存在した場合は、エラーメッセージが表示されます。				
図3-8 列定義の新規追加画面				
3-8) 列定義の管理				
列定義の新規作成、削除、内容変更を行います。				
メニューを選択すると、列定義の管理画面 (図3-9) が表示されます。				
リストには、登録済みの列定義名が表示されます。				
リストの最上段には、システム標準の列定義名が表示されます。				
システム標準の列定義を選択している場合は、削除、および変更は出来ません。				
◇ ユーザで作成した列定義はLuフォルダ下のCPPCMフォルダ内に「定義名.Tabulate.xml」 として保存されます。このFileは他のLu下のCPPCMフォルダにコピーすることで、 そのLuで使用することができます				
列定義には各列の「集計」「同一判定」が保存されます。				
図3-9 列定義の管理画面				
ボタン	内容	内容		
新規	列定義の追加	列定義の新規追加画面を表示します。 詳細は、3-8)参照。		
削除	列定義の削除	選択している列定義の削除を行います。 削除確認はありませんので注意してください。 帳票画面で使用している列定義のFileを削除した場合は、標準の列定義が選択され、帳票画面が更新されます。		
変更	列の設定変更	選択している列定義の設定を変更するために、列の設定変更画面を表示します。 詳細は、3-7) 参照。		

EYEPIPE 材工積算

14-01-3-6

作業区分	帳票出力調整画面 (メイン画面) List output arrangement dialog (Main)	Ver.
CppcmGUI 出力操作		10.10

3-9) User定義プロパティの追加

概要

帳票出力可能なUser定義プロパティの対象モデルは「全モデル」「配管」「配管付属品・計装品」「サポート」に限ります。

対象システムは「EYEPIPE」「EYELIST-1」「EYELIST-2」「EYESUPT」となります。

合算(Packing)出力時はUser定義プロパティは空となります。

User定義プロパティを出力可能な帳票とUser定義プロパティの種類を下表に示します。

の帳票と下記以外のシステムはUser定義プロパティ出力対象外です。

システム	帳票名	ファイル名	User定義プロパティ			
			全モデル	配管	配管付属品・計装品	サポート
EYEPIPE	ラインリスト	A3DL	OK	OK		
	配管部品集計	I_3dft				
	一般弁集計	I_3dvl				
	配管付属品集計	I_3dpa				
	計装品集計	I_3din				
	ボルト&ナット集計	I_3dbn				
	ガスケット&リング集計	I_3dgr				
	パイプ集計	I_3dpp				
	配管断熱材集計	I_3dis				
	配管塗装集計	I_3dpt				
	全配管部品集計	I_3dpmbq				
	トレーサ配管材料集計	I_3dtr				
	定尺パイプリスト	I_3dcl				
	総合積算表	I_3dac				
	架構部材	I_3dst				
EYELIST-1	ラインインデックス	I_3dll	OK	OK		
	配管工事量集計	I_3dce	OK	OK		
	パイプランリスト	I_3dpr	OK	OK		
	配管部品集計	I_3dft	OK	OK		
	一般弁集計	I_3dvl	OK	OK		
	配管付属品集計	I_3dpa	OK	OK	OK	
	計装品集計	I_3din	OK	OK	OK	
	ボルト&ナット集計	I_3dbn	OK	OK		
	ガスケット&リング集計	I_3dgr	OK	OK		
	パイプ集計	I_3dpp	OK	OK		
	パイプカットプラン	I_3dcp	OK	OK		
	配管断熱材集計	I_3dis	OK	OK		
	配管塗装集計	I_3dpt	OK	OK		
	全配管部品集計	I_3dpmbq	OK	OK		
	EYESUPT	配管サポート	ASUP	OK		
ファスナ		I_3dsf				
固定部品		I_3dsb				
部材		I_3dss				
プレート		I_3dsl				

作業区分

CpccmGUI  
出力操作帳票出力調整画面 (メイン画面)  
List output arrangement dialog (Main)

Ver.

10.10

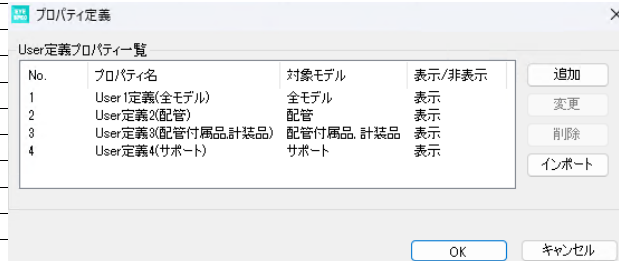
つづき

## 操作手順

User定義プロパティを追加して出力可能な帳票を開きます

ここでは以下のUser定義プロパティを設定したEYELIST-1「計装品集計(I\_3din)」を例に説明します。

User定義プロパティは「プラント属性」画面の「User定義プロパティ」から設定できます。

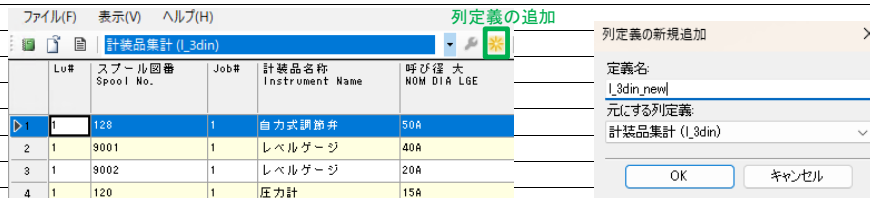


材工積算 (CpccmGui) で「EYELIST-1」システムの「計装品集計(I\_3din)」を開きます。

「EYEPIPE」にも「計装品(I\_3din)」がありますがこの帳票は「合算(Packing)」のためUser定義プロパティは空白となります。

デフォルトではUser定義プロパティは現れません。新規に列定義を追加します。

「表示」「列定義の追加」またはツールバーボタンで以下の「列定義の新規追加」ダイアログが現れます



定義名に列定義名を入れてOKを押します。定義名は好きな名前を入れることができます。ここではI\_3dpmqbq\_newとします。

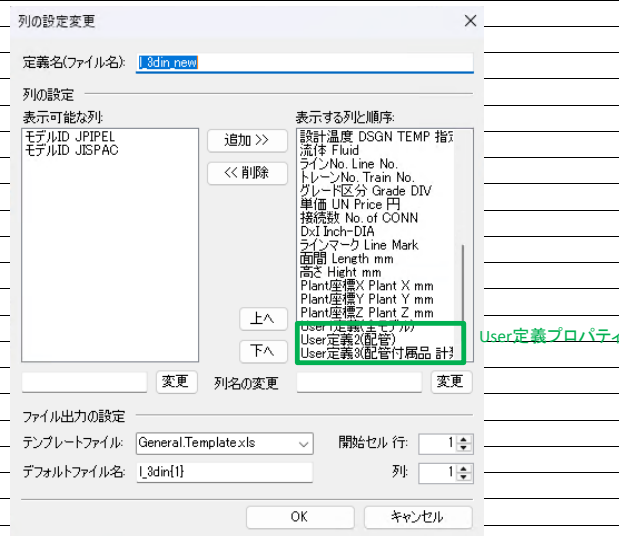
「OK」で新しく定義した列定義で帳票表示されます。このとき表示可能なUser定義プロパティが現れます。



表示列の変更は「表示」「列の設定変更」もしくはツールバーボタンで「列の設定変更」ダイアログで行います。

「表示する列と順序」に表示可能なUser定義プロパティが現れます。

操作の詳細は14-01-3-5を参照してください。



## EYEPIPE 材工積算

14-01-4-1

作業区分	帳票一括出力 Batch output lists	Ver.
CppcmGUI 出力操作		10.10

## 1. 概要

帳票一括出力は、一度の操作・条件設定で集計を行い、複数種類の帳票を出力する機能です。

14-01-1-2 出力可能帳票一覧表の「一括出力」列に「○」が記載されている帳票が、一括出力可能な帳票です。

## 2. 画面構成

## 画面イメージ

ラベル	内容/機能
帳票一括出力	出力可能な帳票の一覧と そのファイル名固定文字が表示される
出力帳票	所有ライセンスにより内容は異なる チェックを入れることで、その帳票が一括出力の 対象となる
出力先	一括出力する形式および出力先を指定する
Text	帳票をV693互換Text形式で出力する
Excel	帳票をV693互換Excel形式Fileで出力する
Luフォルダ	出力先をLuフォルダにする
任意フォルダ	Text/Excelファイルの出力先Folderを指定する 直接入力、または[...]ボタンを押下して Folder選択画面で指定する
データベース	出力先でデータベースが選択されている場合は、 操作できない
拡張文字	作成する帳票のText/Excelファイル名固定文字の 後に付加する文字列を入力する 拡張文字は自動的に保存され(最大20個)、 次回以降、Comboから選択が可能
データベース	データベースに帳票データを出力する
データベース	出力するデータベースを候補から選択する
データベース	あらかじめ登録されているデータソースが、 Comboに表示される 出力先に、Textファイル、Excelファイルが選択 されている場合は、操作できない

## 【補足事項】

- データベースに出力するためには、EYELIST-1のライセンスが必要です。  
EYELIST-1のライセンスが無い場合には、出力先にデータベースを指定できません。
- データベースに出力する場合は、あらかじめシステムにデータベースを登録しておく必要があります。  
データベースの登録方法については、14-01-8-1を参照してください。

## 3. 操作手順

1) 出力帳票に表示されている帳票一覧から、出力したい帳票をクリックするとチェックが入り出力対象となります。  
もう一度その帳票をクリックすると、チェックが外れ出力対象から除外されます。

2) 出力先から、出力したい形式を選択します。

3) Textファイル、Excelファイルを選択した場合は、出力先のフォルダと、拡張文字を設定します。

拡張文字は、直接入力するか、以前入力した内容がComboに  
履歴(最大20個)として表示される(図1)ので、その中から選択します。

拡張文字に入力または選択した文字列が、帳票のファイル名の後に付加され、  
帳票ファイルが作成されます。

拡張文字

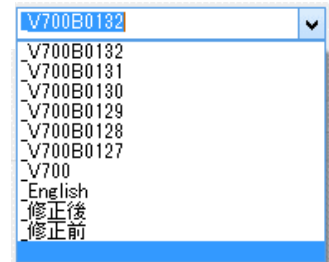


図1 拡張文字Comboの履歴一覧の例

4) データベースを選択した場合は、出力先のデータソースを選択します。  
データソースのComboをクリックすると、登録済みのデータベースの一覧が表示されるので、その中から選択してください。

5) 「次へ」を選択すると、出力条件設定画面が表示されます。  
出力条件設定画面で「次へ」を押下することで、帳票一括出力が実行されます。

出力条件設定画面の詳細については、14-01-6-1を参照してください。



## EYEPIPE 材工積算

14-01-5-2

作業区分

CpccmGUI  
出力操作帳票選択出力  
Select output lists

Ver.

7.00

## 4. 特記事項

- 1) 帳票画面表示が無い帳票（配管材料基準など）を選択した場合は、  
帳票画面無しダイアログが表示されます。（図2）

「V693互換Text出力」もしくは「V693互換Excel出力」をクリックすると  
該当するFileが出力されます。（出力できない形式はクリック出来ません）

帳票画面表示の有無については、14-01-1-2の表中の「帳票画面表示」列を  
参照してください。

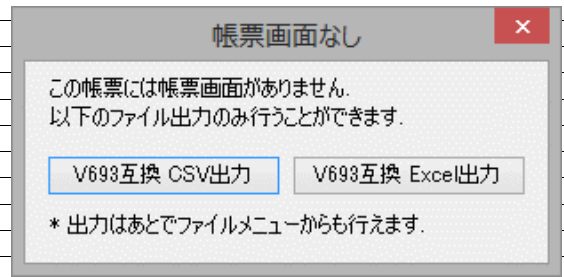


図2 帳票画面無しダイアログ

EYEPIPE 材工積算

14-01-6-1

作業区分	出力条件設定画面 Output mode setting dialog	Ver.
CppcmGUI 出力操作		8.00

1. 概要

帳票一括出力、および帳票選択出力でのLuデータ直接参照において、各集計の条件設定を行う画面です。  
I\_3dst(構造部材集計)を選択した場合は条件設定画面が異なります。14-01-6-3参照

2. 操作概要

出力条件設定画面の各項目を集計したい条件に合わせて設定をおこない、「次へ」をクリックすることで集計が実行されます。  
設定した条件は、設定Fileとして保存することが可能で、複数作成しておき用途に合わせて読み込むことが可能です。  
集計実行したときの条件は自動的に記憶され、次回起動時に同じ内容が出力条件として再現されます。

3. 画面構成

画面イメージ	設定エリア	参照
	設定項目	ページ 項
	集計条件	14-01-6-2
	同一材料の行を一行に合算して生成する	4-1)
	線配管部品・トレーサ配管材料集計	4-2)
	パイプ切断計画	4-3)
	工事量	4-4)
	絞り込み条件	14-01-6-2
	●全選択	5-1)
	○JOB区分指定	5-2)
	●全選択	5-3)
	○流体指定	5-4)
	○クラス指定	
	●全選択	
	○スプール図番指定	
	絞り込みするときだけ××指定ボタンを選択してください。 全て出力するときは全選択を選びます	
配管途中材集表示区分	14-01-6-5	
テストループNo. 指定	6-1)	
材集無し部存在	6-2)	
設定読込	14-01-6-1	3-1)
設定保存	14-01-6-1	3-2)
次へ	14-01-6-1	3-3)
キャンセル	14-01-6-1	3-4)

3. ボタンメニュー説明

3-1) 設定読込

指定した設定Fileに保存されている出力条件を読み込み、出力条件設定画面に設定します。  
設定読込画面が表示されますので、目的の設定File(拡張子 .xcs)を指定して、出力条件を読み込みます。

3-2) 設定保存

出力条件設定画面に設定されている内容を、任意の設定Fileに保存します。  
設定保存画面が表示されますので、保存先、設定File名などを指定して、保存実行してください。  
設定Fileの拡張子は、「.xcs」となります。

3-3) 次へ

設定されている出力条件で、帳票を出力します。  
出力処理中は、Progress画面(図3-3)が表示されます。  
処理を中止したい場合には、「中止」ボタンをクリックします。  
ただし、処理のタイミングによっては、「中止」ボタンが無効になっている場合もあります。

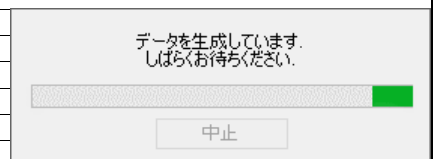


図3-3 Progress画面

3-4) キャンセル

出力条件設定画面を閉じ、帳票画面(メイン画面)に戻ります。

EYEPIPE 配管材集・積算

14-01-6-2

作業区分  
CpccmGUI  
出力操作

出力条件設定画面  
Output mode setting dialog

Ver.  
9.10

4. 集計条件エリア詳細

項番	エリア名 項目名	要素	機能・操作説明／補足事項
4-1)	同一材料の行を一行に合算して生成する	CheckBox	同一材料の部品の集計方法を指定する チェックONで、同一材料の部品を一行に合算して出力 (Packing Mode) チェックOFFで、同一材料の部品でも別の行にして出力 (Break Mode) EYELIST-1のライセンスがある場合のみ、Break Modeで出力することが可能
4-2)	全配管部品・トレーサ配管材料集計 資材コード設定 File	ComboBox	全配管部品集計、およびトレーサ配管材料集計で使用する資材Code設定Fileを指定する ComboBoxには、メインLuに存在する資材Code設定Fileの候補が表示される 資材Codeおよび資材Code設定Fileの詳細については、 全配管部品集計 資材Code l_3dpmbq.xls (21-05-7-1) を参照 全配管部品集計、またはトレーサ配管材料集計指定時のみ選択可能
4-3)	パイプ切断計画 長尺パイプの 自動管割り つかみしろ (mm指定)	CheckBox TextBox	※詳しい説明については、14-03-1-1を参照 長尺パイプを自動で管割りする場合にチェックをONにする パイプカットプラン、定尺パイプリスト指定時のみ選択可能 パイプのつかみしろを、1mm単位で指定する (設定範: -9999~32767) 数値入力するか、またはTextBox横の▲(+1mm)、▼(-1mm)で増加減可能 パイプ切断時の切削代については、AG(J)CNST D066 (14-03-3-1) を参照 パイプカットプラン指定時のみ選択可能
4-4)	工事量 Inch x Meter Calculation Mode	ComboBox	工事量の集計方法を選択 選択肢 集計方法 Run Length (Include Fitting, Pacc, Inst) 経路長 (部品を含む) で集計 Cut Pipe Length Only カットパイプ長で集計 工事量集計指定時のみ選択可能

5. 絞り込み条件エリア詳細

項番	エリア名 項目名	要素	機能・操作説明／補足事項	共通事項
5-1)	JOB区分指定 一覧	CheckBox ListBox	チェックONで集計条件にJOB区分を指定する チェックOFFの場合は、全てのJOB区分が集計対象となる メインLuのプラント属性に登録されているJOB区分が表示される チェックONにしたJOB区分が集計対象となる JOB区分指定のチェックがONの場合のみ選択可能	※(すべて選択) 行について 各一覧の1行目にある(すべて選択)をクリックすると、一覧内の全候補のチェックがONになる
5-2)	流体指定 一覧	CheckBox ListBox	チェックONで集計条件に流体を指定する チェックOFFの場合は、全ての流体が集計対象となる メインLuのプラント属性に登録されている流体の流体記号が表示される チェックONにした流体が集計対象となる 流体指定のチェックがONの場合のみ選択可能	一覧内の候補のうち一つでもチェックONの候補がある時に、(すべて選択)をクリックすると一覧内の全候補のチェックがOFFとなる
5-3)	クラス指定 一覧	CheckBox ListBox	チェックONで集計条件にクラスを指定する(最大100) チェックOFFの場合は、全てのクラスが集計対象となる メインLuのプラント属性に登録されているクラスのクラス記号が表示される チェックONにしたクラスが集計対象となる。クラス指定のチェックがONの場合のみ選択可能。※V7.02現在、数字のみで設定されているクラス記号が存在するLuでクラス指定すると集計がされません。クラス指定OFFなら出力されます	一覧内の全候補のチェックがOFFになっている場合のみ、(すべて選択) 行のチェックがOFFで表示される
5-4)	スプール図番指定 抽出 Spool No. From~To Revision No. 集計フラグONの図番	CheckBox ListBox ボタン TextBox TextBox CheckBox	チェックONで集計条件にスプール図番を指定する (最大4000) チェックOFFの場合は、全てのスプール図番が集計対象となる 3D配管モデル入力で設定されているスプール図番と、付随する情報 (Lu#, RevisionNo, 材集Flag設定) が表示される チェックONにしたスプール図番のラインが集計対象となる スプール図番指定のチェックがONの場合のみ選択可能 ボタンを押下することで、条件設定したSpool No.、Revision No.、集計フラグONの図番に合致するスプール図番を一覧に表示する 絞り込む範囲をスプール図番のFrom~Toで指定 (設定範囲: 0~9999、ただしマイナス値を入力してもエラーにはならない) スプール図番指定のチェックがONの場合のみ選択可能 スプール図番一覧を、Revision No. で絞り込む スプール図番指定のチェックがONの場合のみ選択可能 チェックONの場合に、スプール図番一覧を、集計FlagONのラインで絞り込む 集計Flagは、ASPN (BS) で設定を行う (15-05-5-1参照) スプール図番指定のチェックがONの場合のみ選択可能	テストループNo. 指定の一覧の(すべて選択)も同様の動作

6. 配管途中材集表示区分エリア詳細

項番	エリア名 項目名	要素	機能・操作説明／補足事項
6-1)	テストループNo. 指定 一覧	CheckBox ListBox	チェックONで集計条件にテストループNo. を指定する チェックOFFの場合は、全てのテストループNo. が集計対象となる 3D配管モデル入力で設定されているテストループNo. が表示される チェックONにしたテストループNo. が集計対象となる テストループNo. 指定のチェックがONの場合のみ選択可能
6-2)	材集無し部存在	CheckBox	チェックONで、3D配管モデルに設定されている材集変化値による材集指定が可能となる パイプ標準の集計ではこのチェックは変更不可で常にOFF パイプ標準の集計: l_3dac, l_3dce, l_3dpr, l_3dis, l_3dpt

EYEPIPE 配管材集・積算

14-01-6-3

作業区分	出力条件設定 (架構部材集計表) 画面 Output mode (structure member B/Q) setting dialog	Ver.
CppcmGUI 出力操作		7.00

1. 画面構成

画面イメージ	設定エリア	参照
	設定項目	ページ 項
	絞り込み条件	14-01-6-3
	部材形状指定	2-1)
	JOB区分指定	2-2)
	基本部材No. 指定	2-3)
	エリア指定	2-4)

2. 絞り込み条件エリア詳細

項番	エリア名	要素	機能・操作説明／補足事項	共通事項
2-1)	部材形状指定	CheckBox	チェックONで絞り込み条件に部材形状を指定する チェックOFFの場合は、全ての部材形状が集計対象となる	14-01-6-2 5. 絞り込み条件エリアの共通事項と同じ
	一覧	ListBox	部材形状一覧が表示される チェックONにした部材形状が集計対象となる 部材形状指定のチェックがONの場合のみ選択可能	
2-2)	JOB区分指定	CheckBox	チェックONで絞り込み条件にJOB区分を指定する チェックOFFの場合は、全てのJOB区分が集計対象となる	
	一覧	ListBox	メインLuのプラント属性に登録されているJOB区分が表示される チェックONにしたJOB区分が集計対象となる JOB区分指定のチェックがONの場合のみ選択可能	
2-3)	基本部材NO. 指定	CheckBox	チェックONで絞り込み条件に基本部材No. を指定する チェックOFFの場合は、全ての基本部材NO. が集計対象となる	
	一覧	ListBox	3D配管モデル入力で設定されている部材NO. が表示される チェックONにした部材No. が集計対象となる	
2-4)	エリア指定	CheckBox	チェックONで絞り込み条件にエリアを指定する チェックOFFの場合は、プラントエリアが集計対象となる	
	X範囲	TextBox	絞り込みするエリアをX,Y,Zのmin,max値で指定する このエリアが集計対象となる	
	Y範囲 Z範囲			

3. ボタンメニュー説明

3-1) 設定読込

指定した設定Fileに保存されている出力条件を読み込み、出力条件設定画面に設定します。  
設定読込画面が表示されますので、目的の設定File (拡張子 .xcs) を指定して、出力条件を読み込みます。

3-2) 設定保存

出力条件設定画面に設定されている内容を、任意の設定Fileに保存します。  
設定保存画面が表示されますので、保存先、設定File名などを指定して、保存実行してください。  
設定Fileの拡張子は、「.xcs」となります。

3-3) 次へ

設定されている出力条件で、帳票を出力します。  
出力処理中は、Progress画面 (図3-3) が表示されます。  
処理を中止したい場合には、「中止」ボタンをクリックします。  
ただし、処理のタイミングによっては、「中止」ボタンが無効になっている場合もあります。

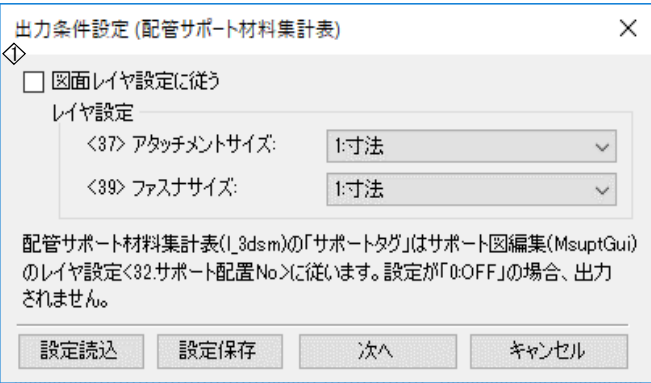
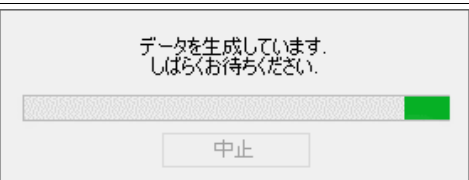
データを生成しています。  
しばらくお待ちください。

中止

図3-3 Progress画面

3-4) キャンセル

出力条件設定画面を閉じ、帳票画面 (メイン画面) に戻ります。

EYEPIPE 配管材集・積算		14-01-6-4		
作業区分	出力条件設定 (配管サポート部材集計表) 画面		Ver.	
CpccmGUI 出力操作	Output mode ( piping support member B/Q )setting dialog		9.00	
1. 画面構成				
画面イメージ	設定エリア	参照		
		ページ	項	
	<input type="checkbox"/> 図面レイヤ設定に従う レイヤ指定 <37> アタッチメントサイズ <39> ファスナサイズ	14-01-6-4	2-1) 2-2)	
図面レイヤ設定を☑でレイヤ設定に従った出力となります ただし設定レイヤがOFFの場合は、☑でも寸法で出力します 配管サポート材料集計表 (I_3dsm) の「サポートタグ」はサポート図編集 (MsuptGui) のレイヤ設定<32. サポート配置No.>に従います。 設定が「0.OFF」の場合、出力されません。 サポート図編集のレイヤ設定については、22-16-6-1を参照してください。				
2. 絞り込み条件エリア詳細				
項番	エリア名	要素	機能・操作説明／補足事項	共通事項
2-1)	<37> アタッチメントサイズ	ComboBox	アタッチメント情報の表記様式を指定する	
	1: 寸法	Item	表記様式の詳細については、22-16-6-1の3. 平板類サイズを参照	
	2: 固定記号			
2-2)	<39> ファスナサイズ	CheckBox	ファスナサイズの表記様式を指定する	
	1: 寸法	Item	表記様式の詳細については、22-16-6-1の4. ファスナサイズを参照	
	2: 固定記号			
3. ボタンメニュー説明				
3-1) 設定読み込み				
指定した設定Fileに保存されている出力条件を読み込み、出力条件設定画面に設定します。 設定読み込み画面が表示されますので、目的の設定File (拡張子 .xcs) を指定して、出力条件を読み込みます。				
3-2) 設定保存				
出力条件設定画面に設定されている内容を、任意の設定Fileに保存します。 設定保存画面が表示されますので、保存先、設定File名などを指定して、保存実行してください。				
設定Fileの拡張子は、「.xcs」となります。				
3-3) 次へ				
設定されている出力条件で、帳票を出力します。 出力処理中は、Progress画面 (図3-3) が表示されます。 処理を中止したい場合には、「中止」ボタンをクリックします。 ただし、処理のタイミングによっては、「中止」ボタンが無効になっている場合もあります。 図3-3 Progress画面				
				
3-4) キャンセル				
出力条件設定画面を閉じ、帳票画面 (メイン画面) に戻ります。				

EYELIST Text File出力 Excel処理

14-01-7-1

作業区分	ブロック集計出力 Block B/Q output	Ver.
CppcmGUI 出力操作		7.00

0. 概要

ブロック別集計出力機能は、モデル入力であらかじめ設定しているボックスエリアを指定して、そのエリア内に含まれる材料のみを集計する機能です。(右図1のように、エリアを区切ってそのエリア毎に集計を行います)

この機能は、V7.00より以前のバージョンに存在した。材料集計のExcel化処理のブロック別集計機能と同等の機能です。

なお、ブロック別集計出力機能は一部の帳票のみ使用可能な機能となっています。ブロック別集計が可能な帳票については、14-01-1-2「出力可能帳票一覧」の帳票選択出力・Blockの列を参照してください。

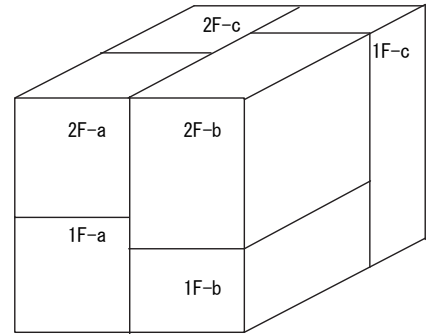


図1 ブロック別集計のイメージ

1. 操作方法

1) ブロック別集計を行いたいエリアは、モデル入力のボックスフィルタとして登録しておいてください。

ボックスフィルタの詳細については、10-15-1-1を参照してください。

2) 帳票画面のブロック別集計メニュー（またはアイコン）を選択するとブロック選択画面（図2）が表示されます。

3) ブロック選択画面には、モデル入力に登録済みのボックスフィルタの一覧が表示されます。

4) 抽出したいエリアのボックスフィルタを選択し、「OK」を押下することで、再集計が実行され、集計結果表示エリアが更新されます。

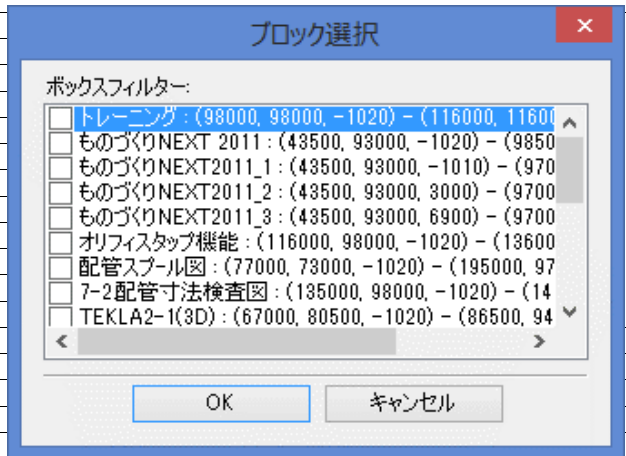
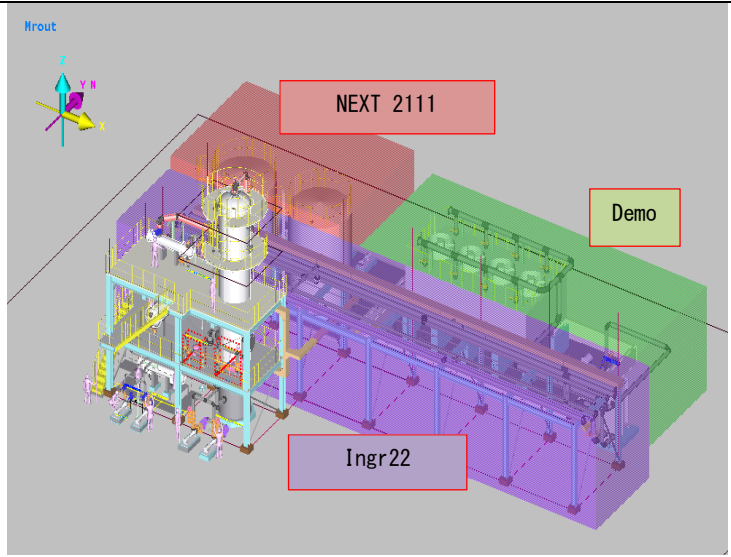


図2 ブロック選択画面

2. ボックスフィルタのエリア指定例

	ボックスフィルタ名	最小座標			最大座標			備考
		X	Y	Z	X	Y	Z	
1	Demo	65000	123000	-1000	85000	132500	9000	
2	NEXT 2011	51000	122800	-1000	64400	133000	8000	
3	Ingr22	51000	117000	-1000	86300	122800	8000	



色分けはイメージです。

図3 ボックスエリアの指定エリアイメージ

3. 補足事項

1) パイプ集計(I\_3dcp)ではブロック別集計に対応していませんが、全配管部品集計(I\_3dpmqb)を使用することで、パイプについてもブロック別集計が可能です。

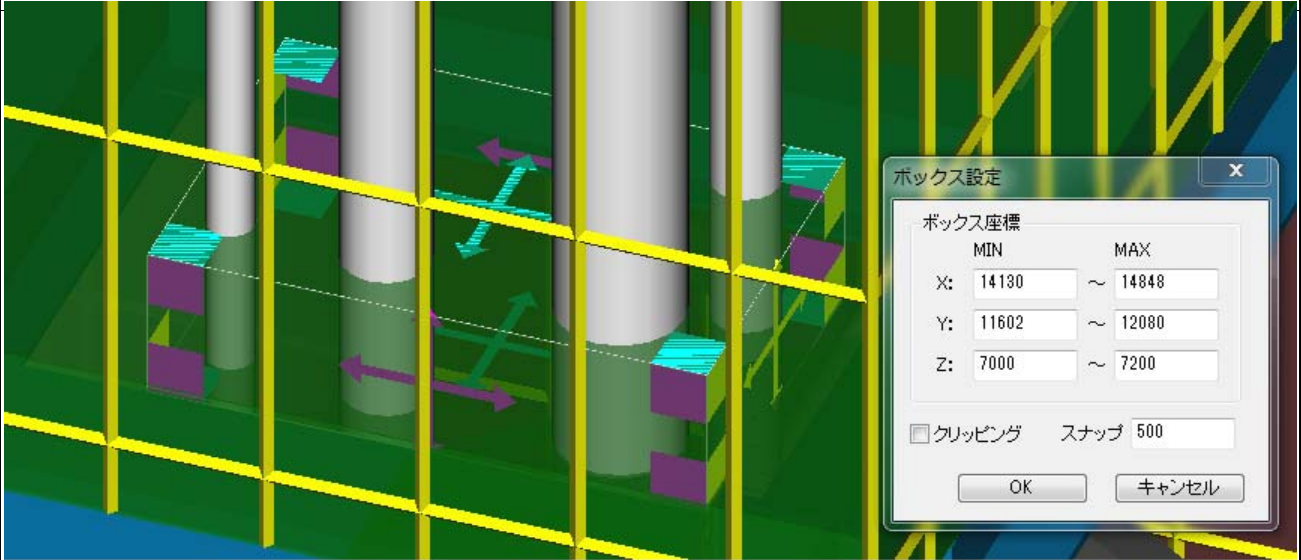
EYELIST Text File出力 Excel処理

14-01-7-2

作業区分	ブロック集計出力 Block B/Q output	Ver.
CppcmGUI 出力操作		7.01

ブロック別集計出力機能を使うことで土建へのインフォメーションなどの情報を図面に追加することが可能です。  
以下に、床貫通情報の事例を示します。

1) 床を貫通している配管部のスリーブに相当する部分をボックスフィルタで作成します。



2) 材工積算 : CppcmGui / EYELIST-1 より全配管部品集計 : l\_3dpmqb.xls を出力し、必要部分をexcelで編集します。

スプール図番	品目名称	外径種	呼び径	ラインマーク	単体長さ mm	Pipeスタート 座標 X mm	座標 Y mm	座標 Z mm	Pipeエンド 座標 X mm	座標 Y mm	座標 Z mm
EYE-Sample-900	パイプ	JIS	80A	80A-HP-0900-a10	200	14750	12000	7000	14750	12000	7200
EYE-Sample-901	パイプ	JIS	150A	150A-HP-0901-a10	200	14700	11700	7000	14700	11700	7200
EYE-Sample-902	パイプ	JIS	100A	100A-LP-0902-a10	200	14400	11700	7000	14400	11700	7200
EYE-Sample-903	パイプ	JIS	50A	50A-LP-0903-a10	200	14200	11700	7000	14200	11700	7200

3) 編集した、l\_3dpmqb.xls を dxf File に変換し、組図にコマ図として入力して貫通情報詳細の出来上がりです。

**PLAN 3FL=1FL+7000  
(1FL+6500~1FL+8500)  
Scale=1/40**

1,80A-HP-0900-a10-#900  
2,150A-HP-0901-a10-#901  
3,100A-LP-0902-a10-#902  
4,50A-LP-0903-a10-#903

スプール図番	品目名称	外径種	呼び径	ラインマーク	単体長さ mm	Pipeスタート 座標 X mm	座標 Y mm	座標 Z mm	Pipeエンド 座標 X mm	座標 Y mm	座標 Z mm
EYE-Sample-900	パイプ	JIS	80A	80A-HP-0900-a10	200	14750	12000	7000	14750	12000	7200
EYE-Sample-901	パイプ	JIS	150A	150A-HP-0901-a10	200	14700	11700	7000	14700	11700	7200
EYE-Sample-902	パイプ	JIS	100A	100A-LP-0902-a10	200	14400	11700	7000	14400	11700	7200
EYE-Sample-903	パイプ	JIS	50A	50A-LP-0903-a10	200	14200	11700	7000	14200	11700	7200

**貫通図**  
Scale=1/15

EYELIST-1より出力した l\_3dpmqb.xls から作成した貫通Data

土建インフォメーション

## EYEP I P E 材工積算

14-01-8-1

作業区分

CpccmGUI  
出力操作データベースの設定  
Data base setting

Ver.

7.00

## 1. 概要

帳票一括出力において、外部データベースに集計結果を出力するためには、あらかじめデータベースを用意、かつデータベースシステムに、ODBCソース（システムDSN）を接続登録しておく必要があります。

本項では、SQL Server 2014 Expressを例に、データベースの登録手順を説明します。

※ SQL Server 2014 Express インストール時に、EYECAD専用インスタンス「EYECAD」を作成したものと説明しています。（インスタンスは必ずしも分ける必要はありません）

## 2. 外部データベースの前提条件

- 1) データベースは、SQL Server（Express含む）に対応しますので、事前にインストールを済ませておいてください。SQL Server以外のRDBMSでも接続は可能ですが、SQL文の互換性がない可能性があるため、非対応としています。
- 2) データベースのテーブルは、CpccmGUIの帳票一括出力実行時に自動生成されるため、空のデータベースで問題ありません。
- 3) 接続にパスワードが必要なデータベースを使用する場合は、ODBCデータソース登録時に、パスワードの入力を済ませておいてください。CpccmGUIからは、DSN文字列だけで接続できるようにしておく必要があります。

## 3. データベースの設定手順

CpccmGUIの帳票一括出力で、出力先にデータベースを使用する場合には、以下の設定が必要となります。

詳細な設定については、それぞれのページを参照してください。

項目	内容	参照ページ	備考
1) データベースの準備	SQL Server 2014 Expressの設定とデータベースの作成	14-01-7-2	
2) ODBCデータソースの準備	CpccmGUIで使用するODBCデータソースの作成と接続	14-01-7-4	

## EYEPipe 材工積算

14-01-8-2

作業区分  
CpccmGUI  
出力操作データベースの準備例  
Data base preparation exampleVer.  
7.00

## 1. 概要

本項では、CpccmGUIの出力先として使用する材集用のデータベースの準備手順について説明します。

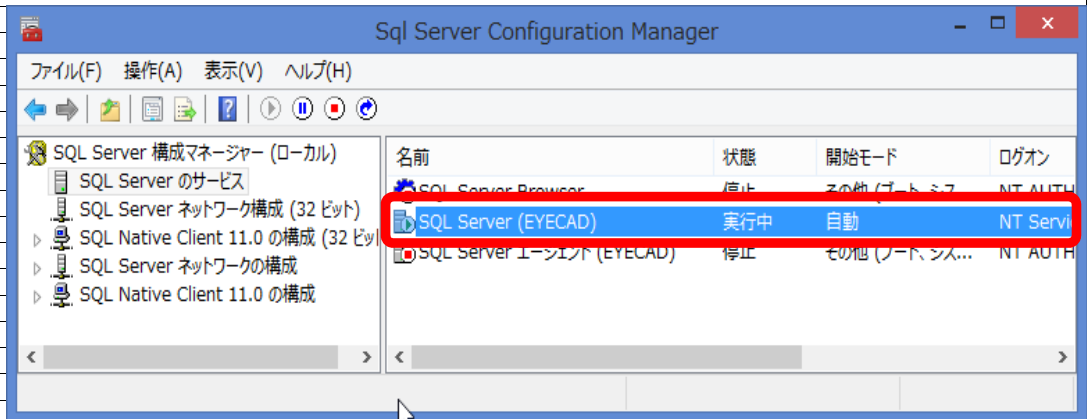
## 2. SQL Serverの稼働状況確認

念のため、SQL Serverが稼働していることを確認してください。

SQL Serverのインストール時にインスタンスを分けた場合、デフォルトではサービスが停止している可能性があります。

- 1) プログラムメニューから「Microsoft SQL Server 2014」「構成ツール」「SQL Server 2014 構成マネージャー」を起動します。
- 2) 使用するSQL Server（ここではインスタンス「EYECAD」）のサービスが「停止」状態である場合は、実行状態に切り替えてください。既に「実行」状態であれば、変更は不要です。

図1-2  
SQL Server  
2014 構成  
マネージャ画面



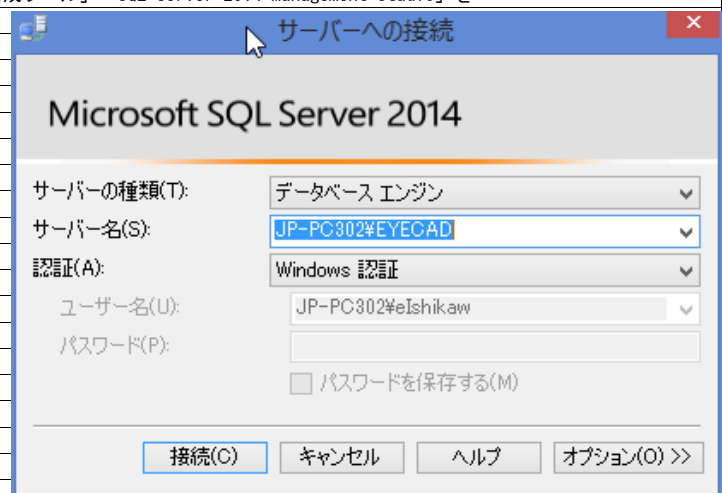
## 3. 材集 (CpccmGUI) 用のデータベースの作成

- 1) プログラムメニューから「Microsoft SQL Server 2014」「構成ツール」「SQL Server 2014 Management Studio」を起動します。

- 2) サーバーへの接続画面（図2-2）が表示されたら、データベースサーバ（とインスタンス）を選択します。

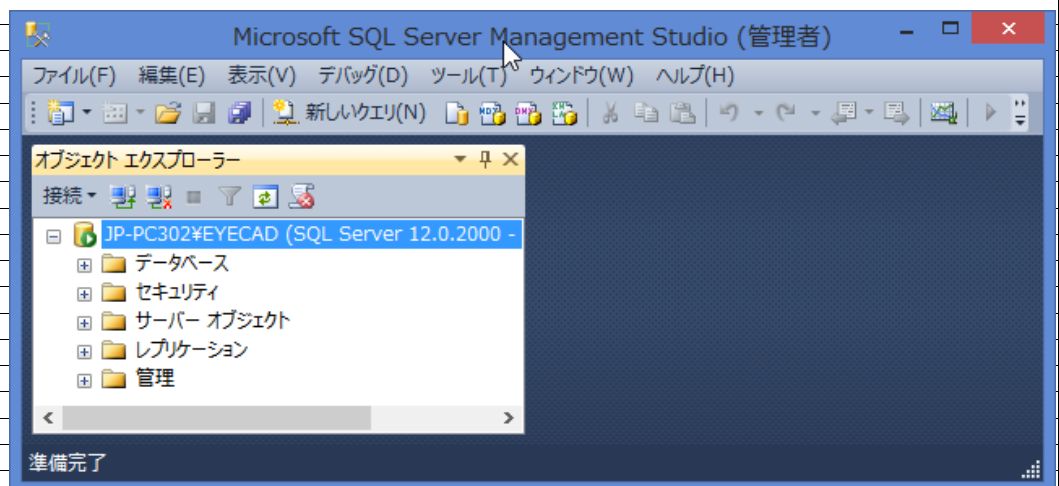
データベースにパスワードがかかっている場合には、認証方式を「SQL Server認証」に変更してパスワードを入力します。

図2-2  
サーバーへの接続画面



- 3) 接続に成功すると、SQL Server Management Studioのメイン画面（図2-3）のツリーに、接続したデータベースサーバーが表示されます。

図2-3  
SQL Server  
Management Studio  
メイン画面



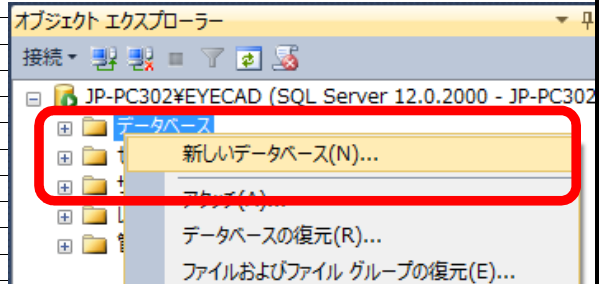
## EYEPIPE 材工積算

14-01-8-3

作業区分  
CppcmGUI  
出力操作データベースの準備例  
Data base preparation exampleVer.  
7.00

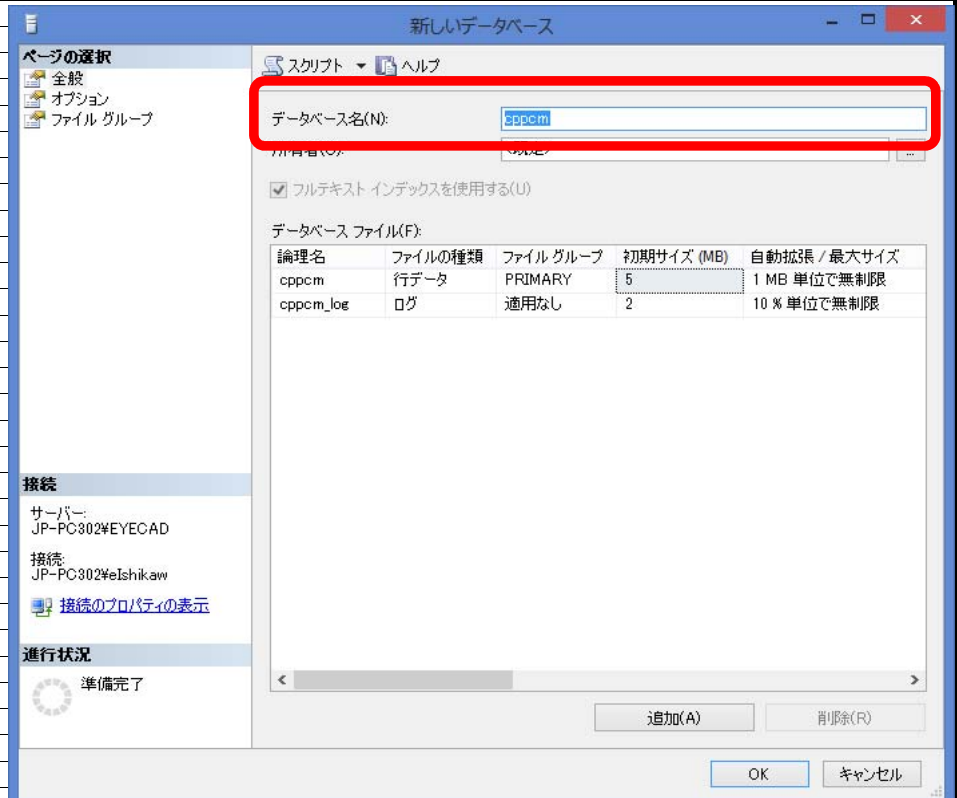
- 4) ツリー (オブジェクトエクスプローラ) から「データベース」を選択し、右クリックメニューの「新しいデータベース」 (図4) を選択します。

図4  
右クリックメニュー



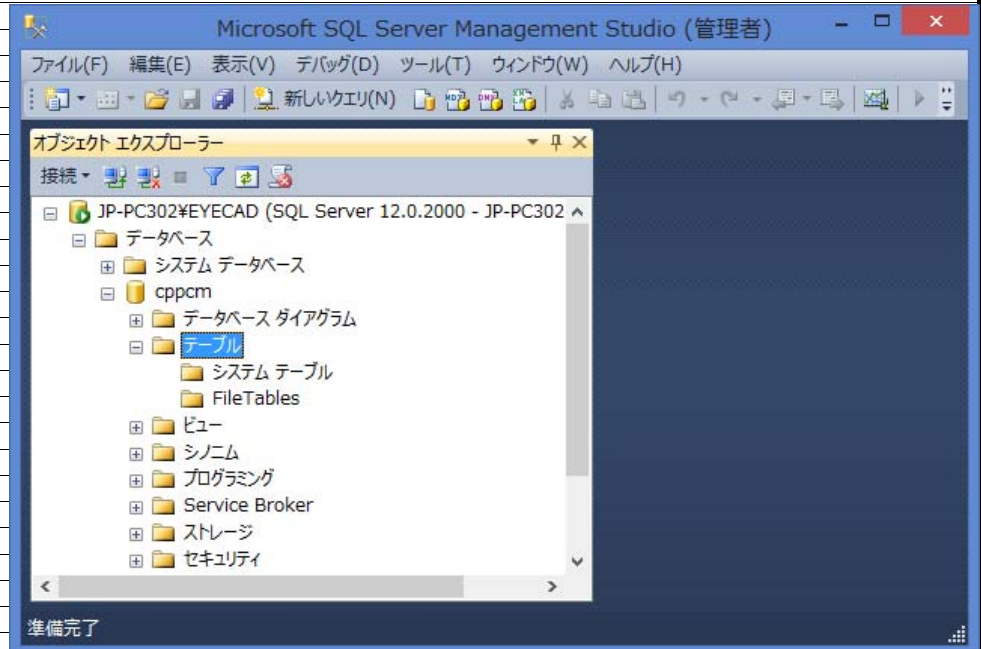
- 5) 新しいデータベース画面 (図2-5) が表示されるので、データベース名を入力します。例では「cppcm」としてデータベースを作成します。その他の設定はデフォルトのままですが、必要であれば他の設定も行ってください。

図2-5  
新しいデータベース画面



- 6) データベースの作成が成功すると、メイン画面のツリーに、データベースがテーブルが一つもない状態で作成されます。

図2-6  
作成されたデータベースの例



- 7) 以上で、データベースの作成が完了しました。次に、ODBCデータソースの準備を行います。(14-01-7-4 参照)

作業区分  
CpccmGUI  
出力操作

ODBCデータソースの準備例  
ODBC data source preparation example

Ver.  
7.00

## 1. 概要

本項では、データベースにODBC経由で接続するためのシステムDNSの登録方法について説明します。

※ 例として、14-01-7-2で作成した「cpccm」データベースにシステムDNSを登録します。

## 2. 登録手順

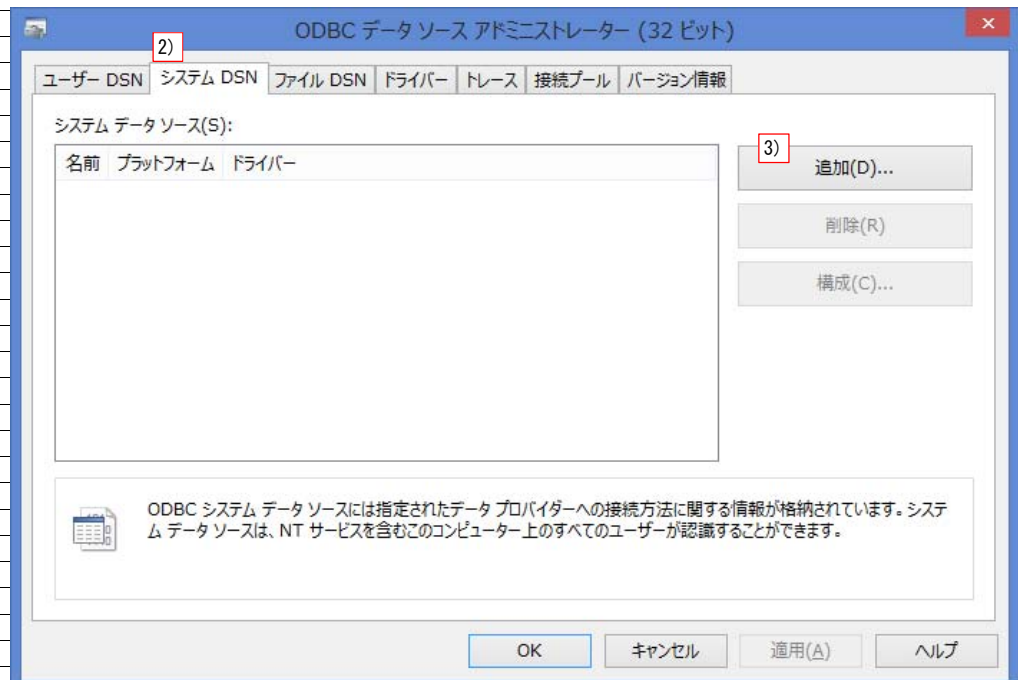
- コントロールパネルから「管理ツール」「データベースソース(ODBC)」を選択すると、ODBCデータソースアドミニストレータ(図1)が起動します。

### 【64Bit版Windowsの注意事項】

64Bit版Windowsをご使用の場合は、上記方法でODBCデータソースアドミニストレータを起動すると64Bit版が起動するため作成するデータソースも64Bit ODBCドライバー向けのシステムDNSが作成されてしまい、CpccmGUIからは使用できません。この場合は、Exploreやコマンドラインなどから以下の実行ファイルにて32Bit版を起動してください。

C:\Windows\SysWOW64\odbcad32.exe

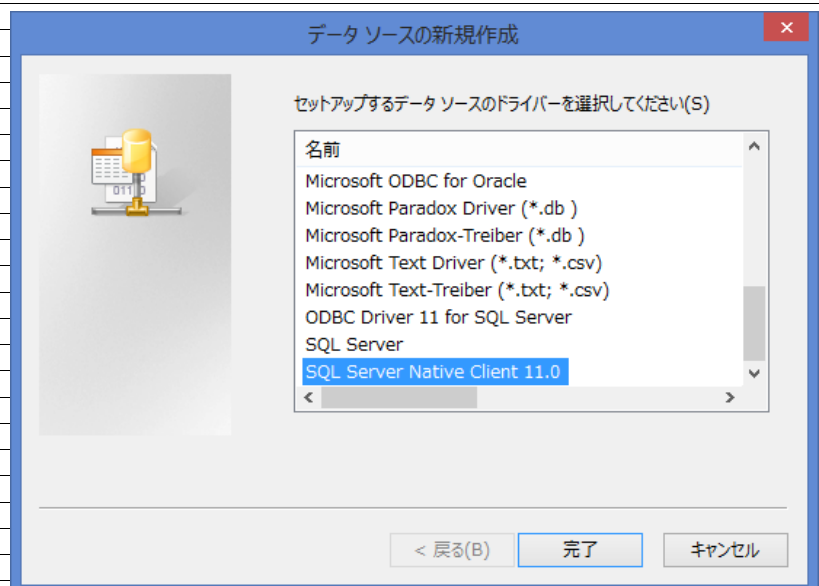
図1  
ODBCデータソース  
アドミニストレータ画面



- タブの「システムDNS」をクリックします。

- 画面右上の「追加(D)...」をクリックすると、データソースの新規作成画面(図3)が表示されます。

図3  
データソースの新規作成画面



- ドライバーとして「SQL Server Native Client」を選択し、「完了」をクリックします。

(次ページへ続く)

作業区分  
CppecGUI  
出力操作

ODBCデータソースの準備例  
ODBC data source preparation example

Ver.  
7.00

- 5) 「SQL Serverに接続するための新規データソースを作成する」ウィザード画面が表示されますので、登録したデータベースのデータソース名 (DNS)、サーバ名 (とインスタンス) を設定し、「次へ(N) >」をクリックします。説明の入力は任意です。

図5

「SQL Serverに接続するための新規データソースを作成する」ウィザード画面

- 6) 次のDialog (図6) で、必要であればパスワードの設定を行い、「次へ(N) >」をクリックします。

図6

パスワードを設定

- 7) 次のDialog (図7) で、で規定のデータベースに作成済みの「cppecm」を指定し、「次へ(N) >」をクリックします。

図7

既定のデータベースを設定

(次ページへ続く)

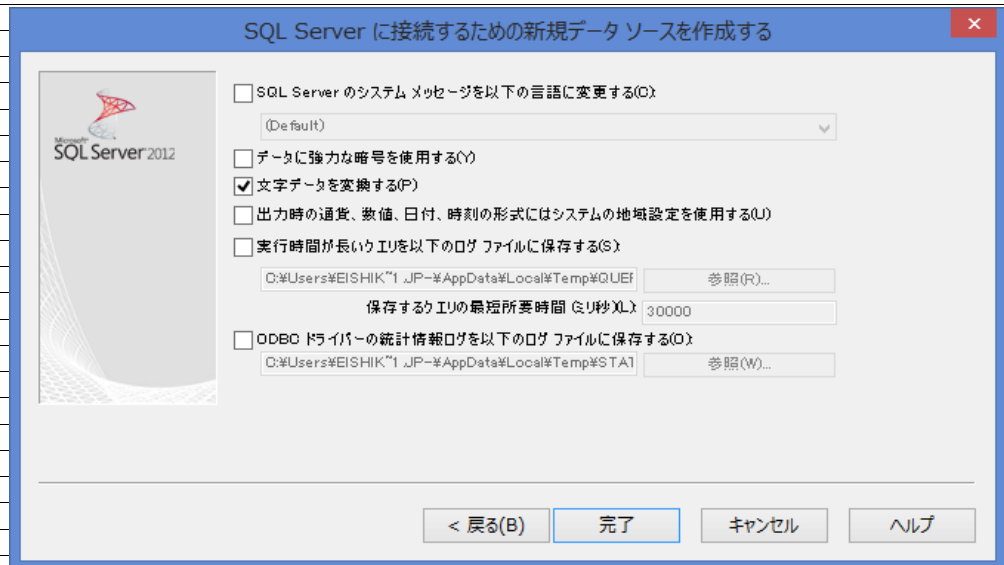
作業区分  
CpccmGUI  
出力操作

ODBCデータソースの準備例  
ODBC data source preparation example

Ver.  
7.00

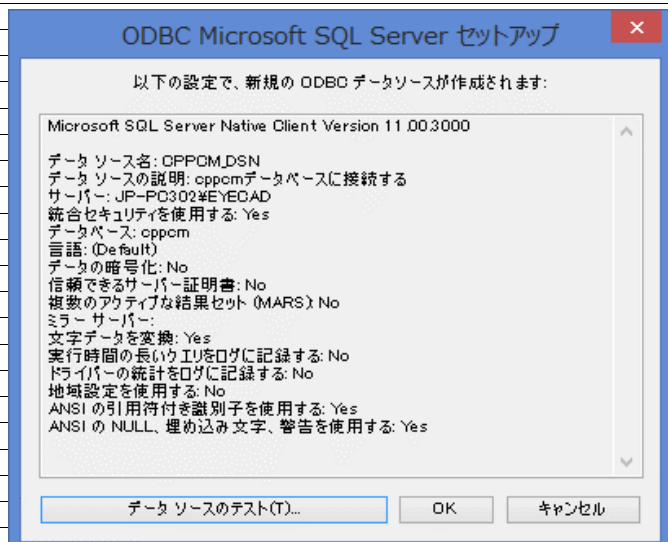
8) 次のDialog (図8) が表示されますが、設定の必要がなければ、そのまま「完了」をクリックします。

図8  
その他の設定



9) ODBC Microsoft SQL Serverセットアップの完了画面 (図9) が表示されますので、接続確認のために「データソースのテスト(T)...」をクリックして接続テストを行います。

図9  
ODBC Microsoft SQL Serverセットアップの完了画面



10) SQL Server ODBCデータソーステスト画面 (図10) が表示され、接続テストの結果が表示されます。接続テストに失敗し、エラーが表示された場合には、設定などを見直してください。

図10 SQL Server ODBCデータソーステスト画面



11) 「OK」をクリックすると、SQL Server ODBCデータソーステスト画面が閉じ、ODBC Microsoft SQL Serverセットアップの完了画面に戻りますので、「OK」をクリックして設定は完了です。

## EYEPIPE 材工積算

14-01-8-7

作業区分

CpccmGUI  
出力操作データベース出力の確認  
Data base output verification

Ver.

7.00

## 1. 概要

本項では、帳票一括出力の出力先に、データベースを指定して出力した場合の確認方法について説明します。

出力先の例として、14-01-7-4~7-6で登録したDSNを使用します。

## 2. 出力設定例

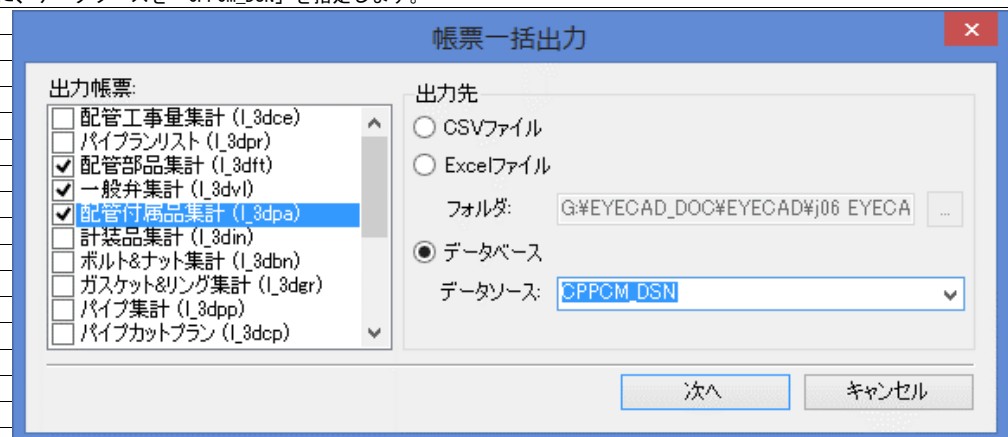
1) CpccmGUIにて、帳票一括出力を実行します。

2) 出力する帳票を選択（例として、配管部品集計(I\_3dft)、一般弁集計(I\_3dvl)、配管付属品集計(I\_3dpa)を選択）し、出力先に「データベース」に、データソースを「CPPPCM\_DSN」を指定します。

図2-2

出力設定例

3) 「次へ」をクリックし、出力条件設定などを行い、帳票出力を実行します。



## 3. 確認手順

1) SQL Server 2014 Management Studioを起動します。

2) オブジェクトエクスプローラーのツリーから出力先に指定したデータベース（例では「cpccm」）をクリックし、さらに「テーブル」をクリックします。

3) ツリーの「cpccm」の「テーブル」が展開されると、出力した帳票のテーブルが作成されていることが確認できます。

図3-3

出力した帳票のテーブル

